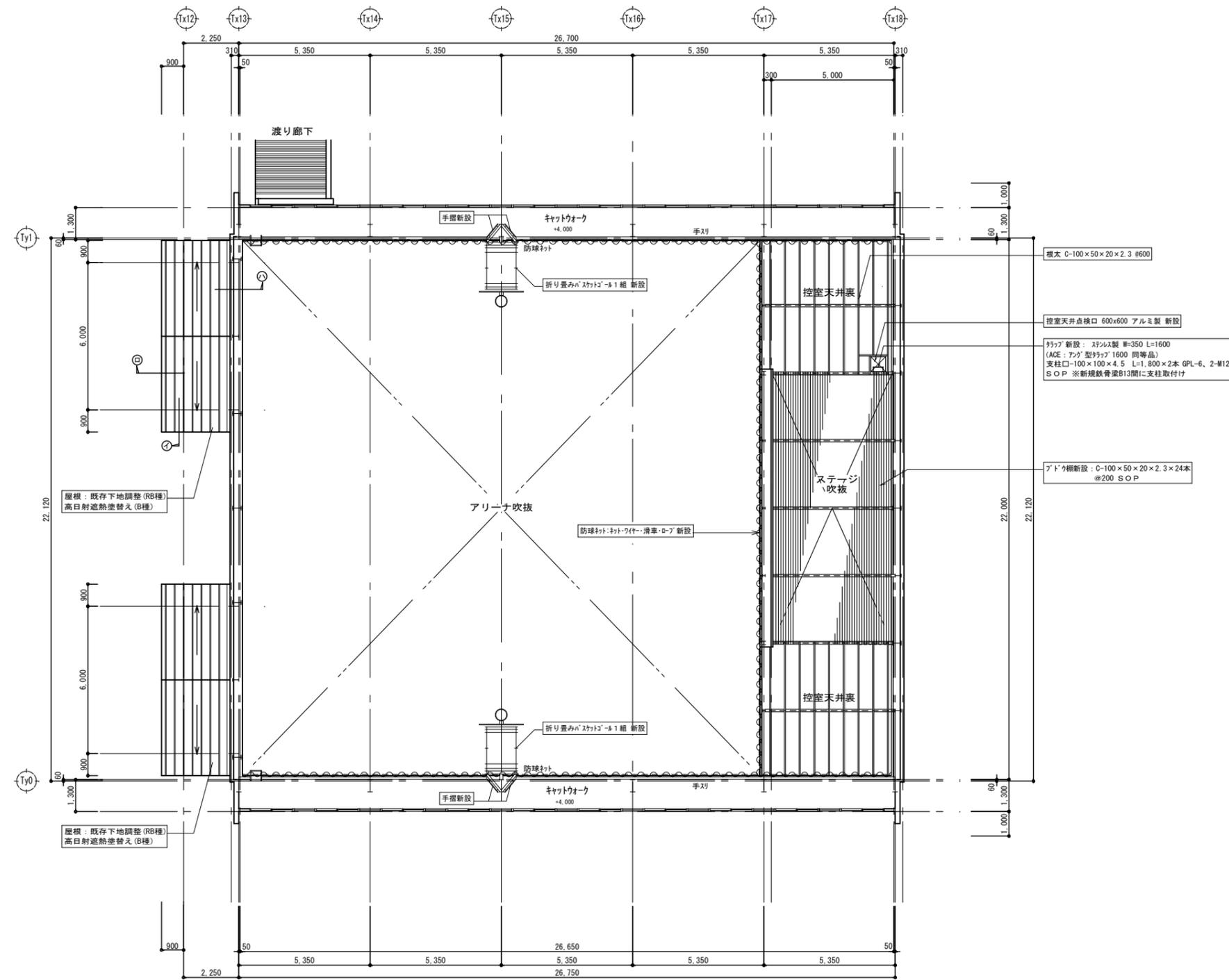


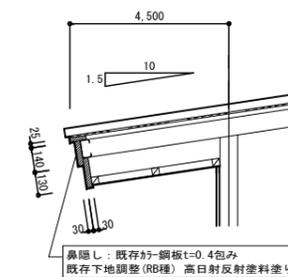
- 凡例
- : 仕上材改修範囲を示す
  - : 土間・躯体等改修範囲を示す
  - : 仕上材改修範囲の表記以外について
- アリーナ床 : 既存床の上、構造用合板t12、長尺弾性塩ビシートt6.0 新設  
 控室1・2床 : 既存床の上、構造用合板t15、長尺塩ビシートt2.0 新設  
 (スロープ部、階段部は詳細図参照)  
 ステージ : 既存床の上、鋼製床、構造用合板t12、かば積層ローリング' t15特殊張、UC 新設

工 事 名	岩手県立二戸地区特別支援学校 (仮称) 体育館改修 (建築) 工事	製 図	担 当	検 印	註 記	作 成 日	2024/05	図面名 改修 1階 平面図	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	区 分 建築意匠	図面番号 A-16
						設計番号	2023-001				

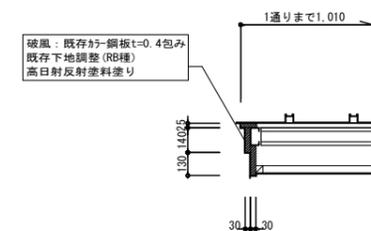


キャットウォーク平面図

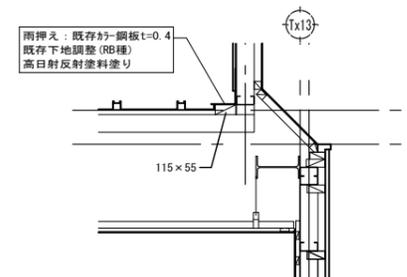
㊦ 部断面詳細図 S=1/20



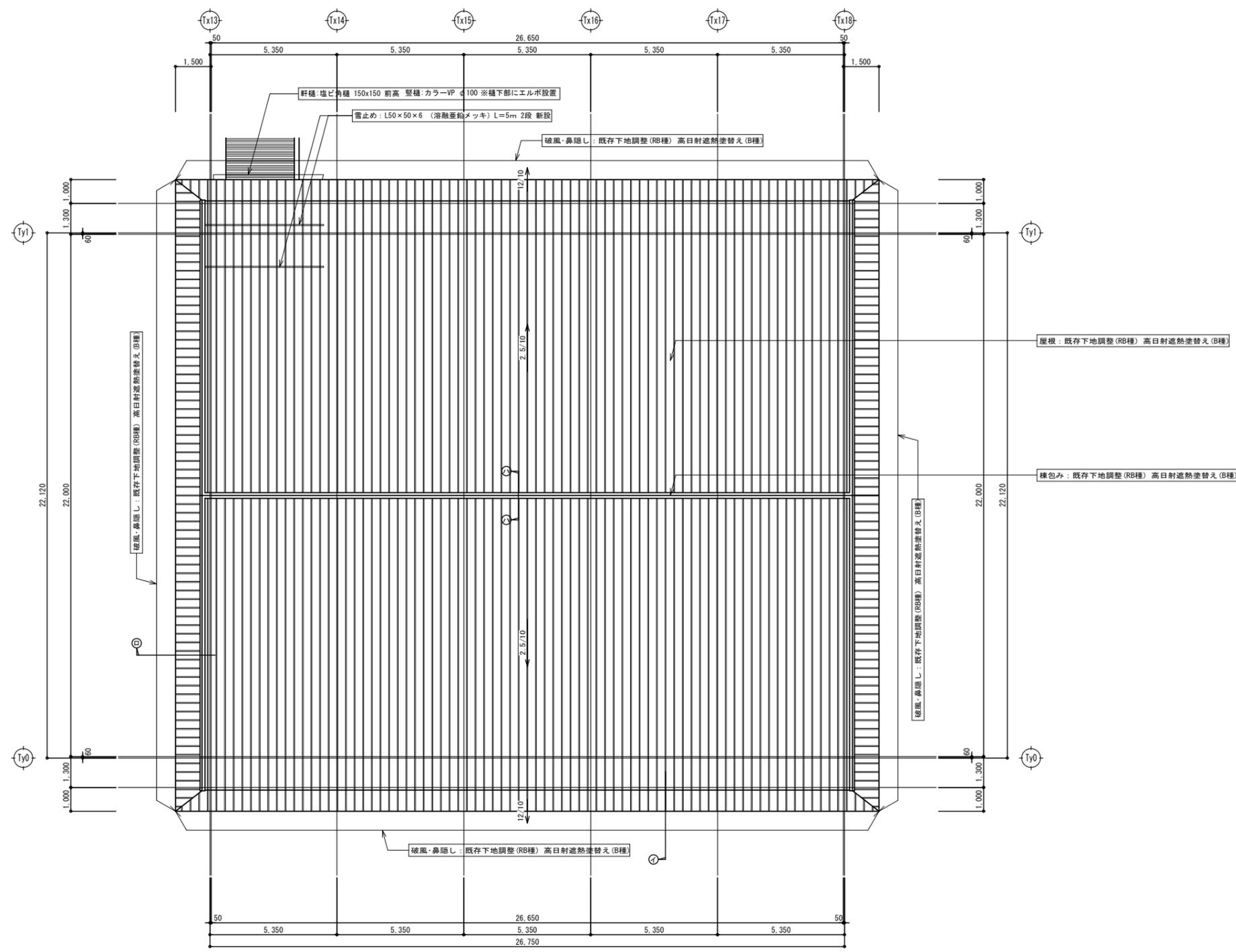
㊧ 部断面詳細図 S=1/20



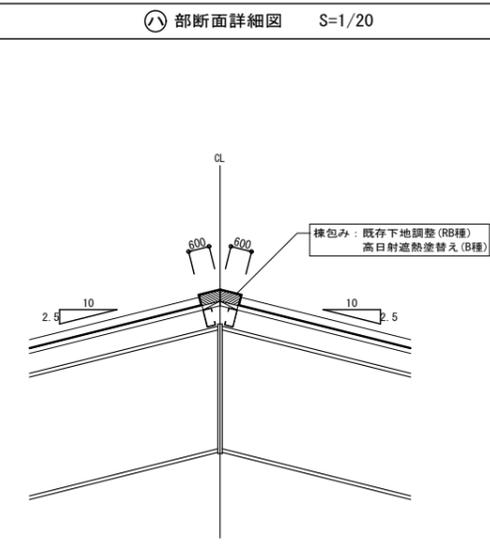
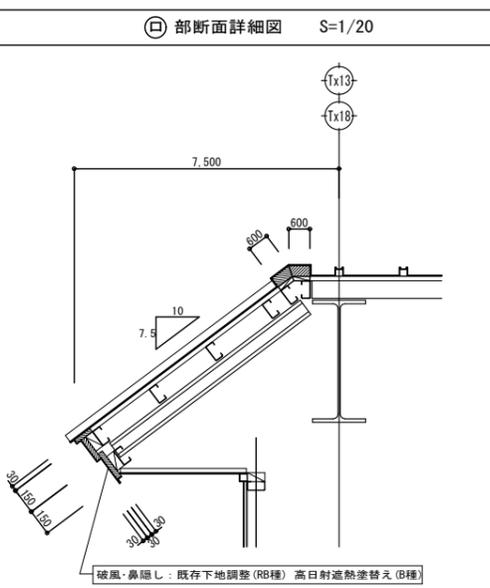
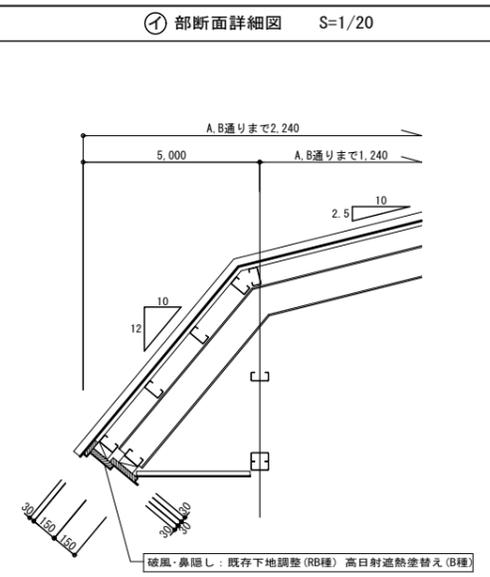
㊨ 部断面詳細図 S=1/20



工事名	岩手県立二戸地区特別支援学校 (仮称) 体育館改修 (建築) 工事	製図	担当	検印	登録	作成日	2024/05	図面名 改修 キャットウォーク 平面図	縮尺 A1: 1/100 1/20 A3: 1/200 1/40	区分 建築意匠	図面番号 A-17
						設計番号	2023-001				

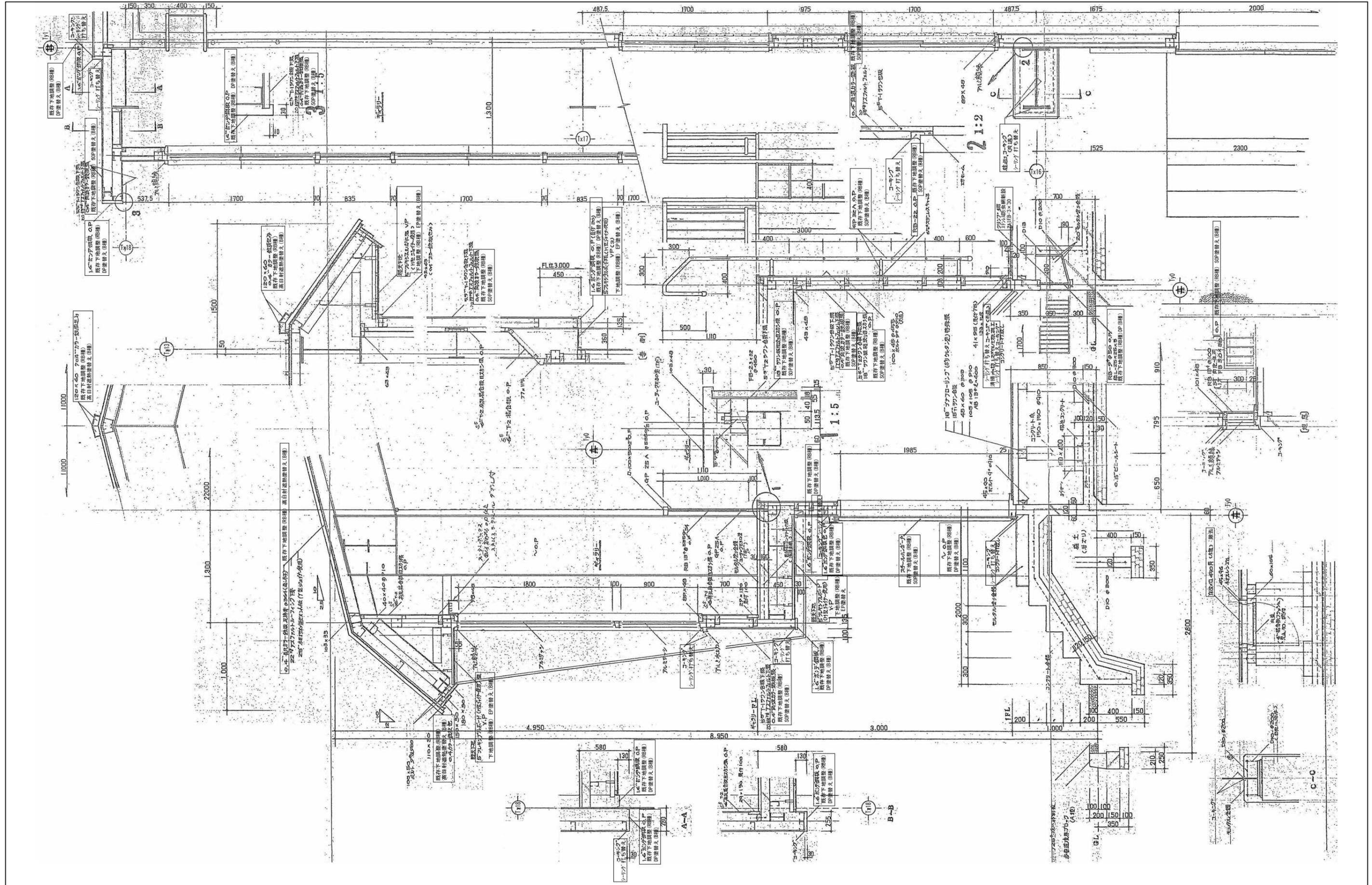


屋根平面図

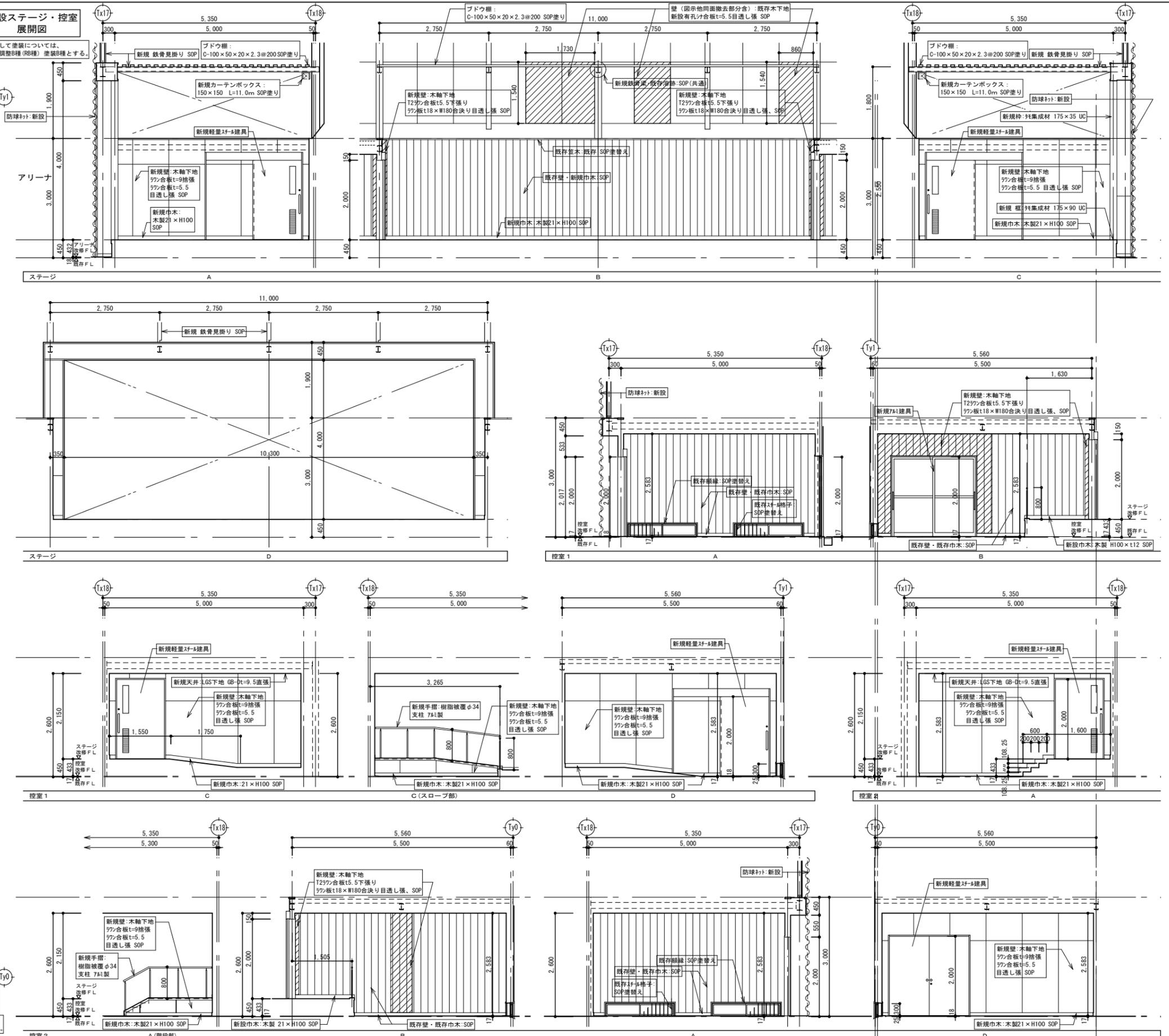
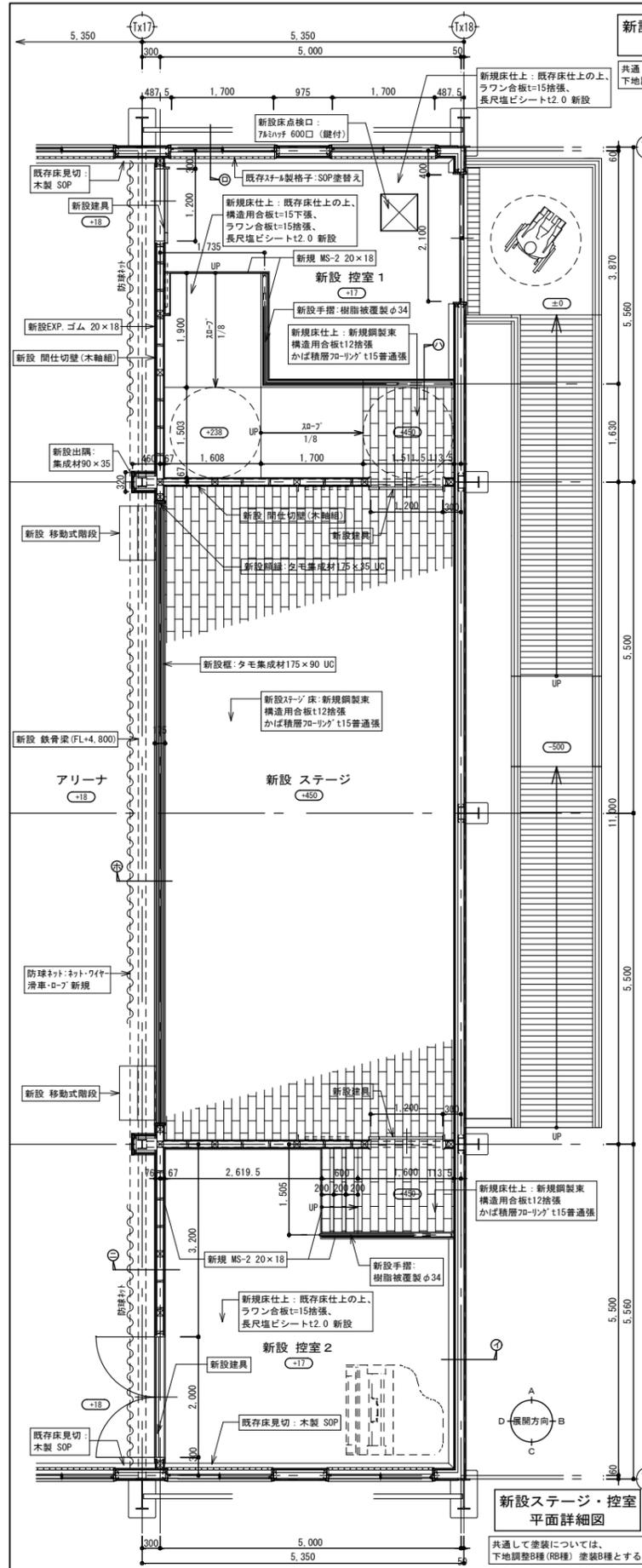


工事名	岩手県立二戸地区特別支援学校 (仮称) 体育館改修 (建築) 工事	製図	担当	検印	註記	作成日	2024/05	図面名 改修 屋根 平面図	縮尺 A1: 1/100 1/20 A3: 1/200 1/40	区分 建築意匠	図面番号 A-18
						設計番号	2023-001				



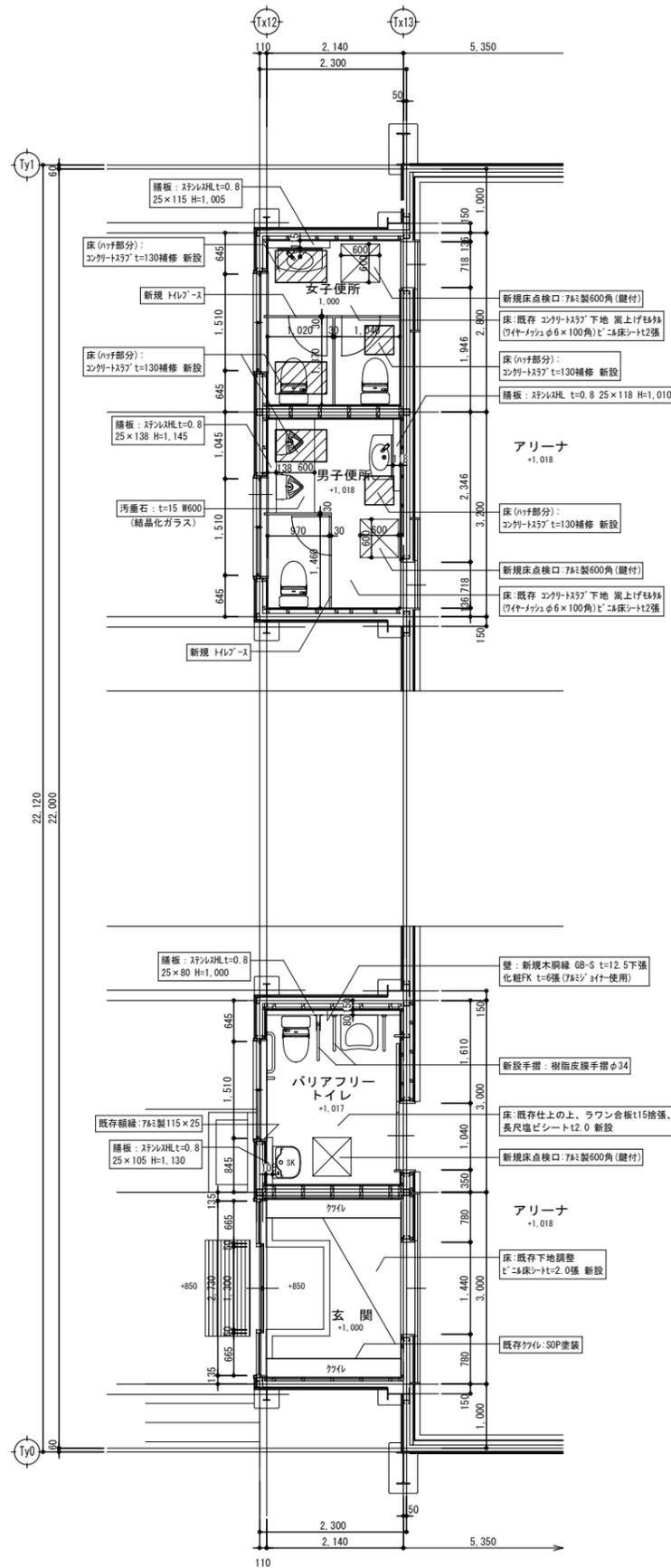


工 事 名	岩手県立二戸地区特別支援学校 (仮称) 体育館改修 (建築) 工事	製 図	担 当	検 印	註 記	作 成 日	2024/05	図 面 名	縮 尺	区 分	図 面 番 号
		設 計 番 号	2023-001	改 修 矩 計 図	A1:1/20, 5.2 A3:1/40, 10.4	建 築 意 匠	A-20				



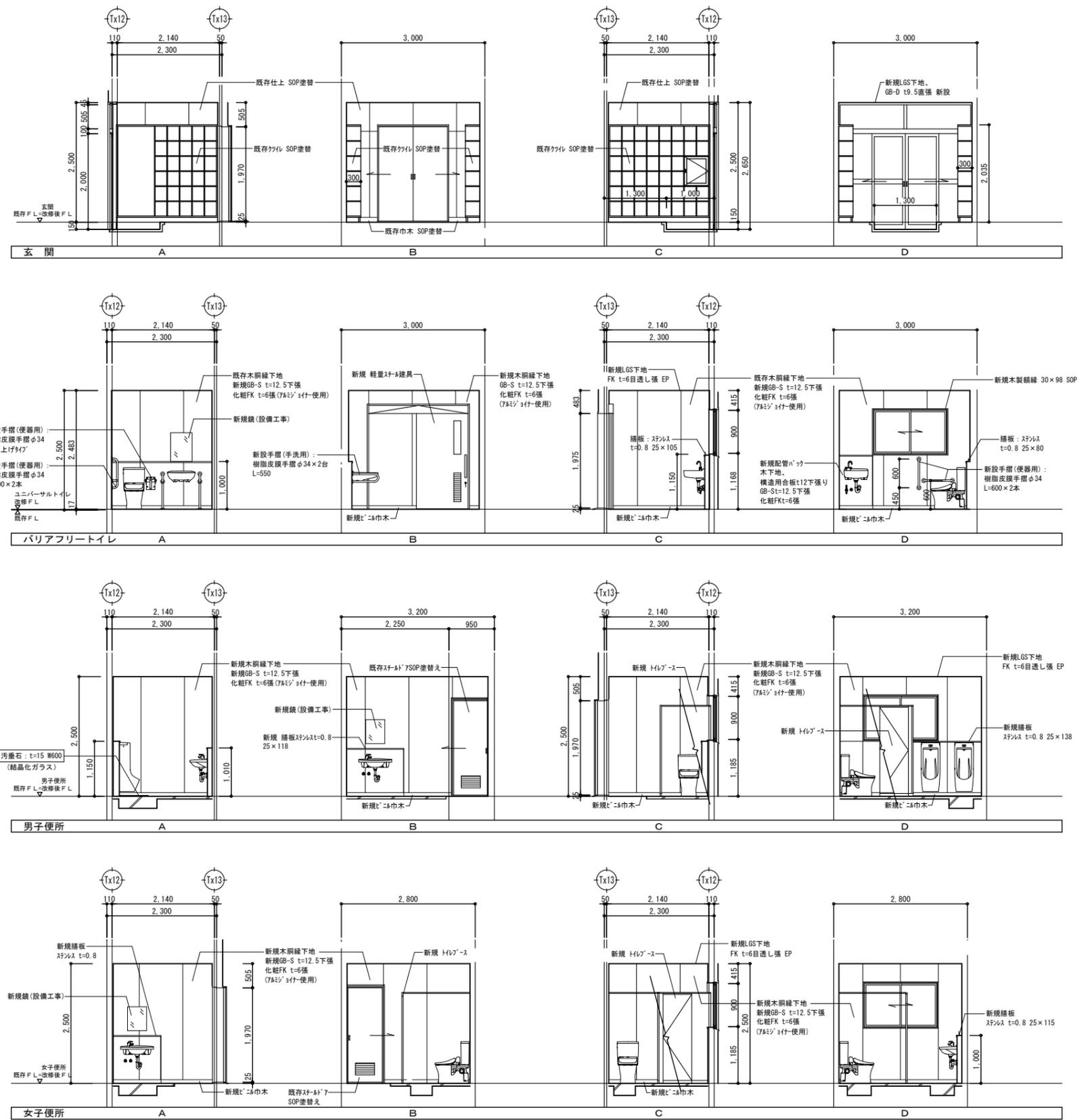
工事名	岩手県立二戸地区特別支援学校 (仮称) 体育館改修 (建築) 工事	製図	担当	検印	登録	作成日	2024/05	図面名	改修 新設ステージ 詳細図 1	縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100	区分	建築意匠	図面番号	A-21
		設計番号	2023-001												





ホール・各便所 平面詳細図

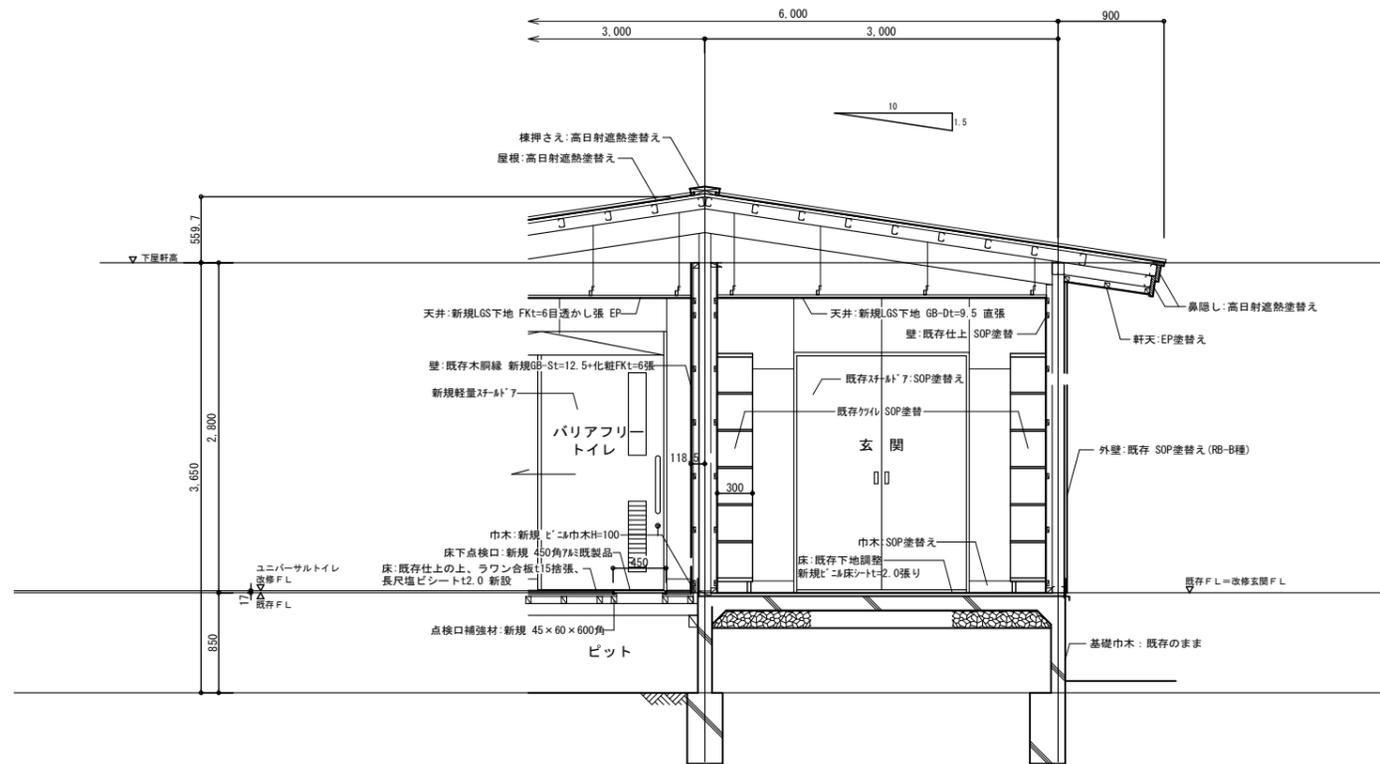
共通して塗装については、  
下地調整B種 (RB種) 塗装B種とする。



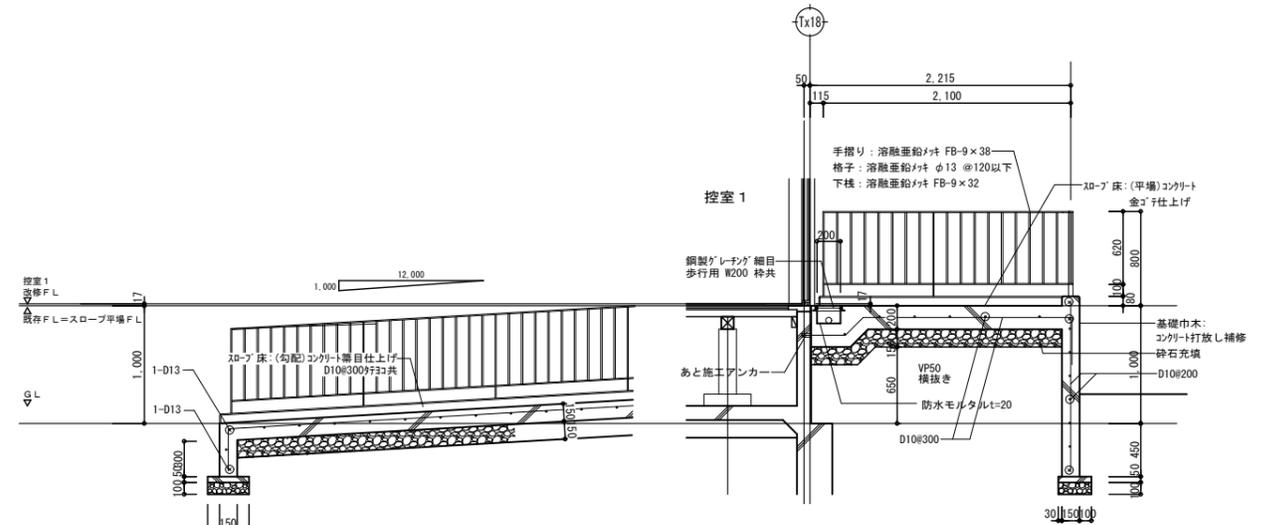
共通して塗装については、  
下地調整B種 (RB種) 塗装B種とする。

共通して設備取付部は  
下地の土、構造用合板t12下張り

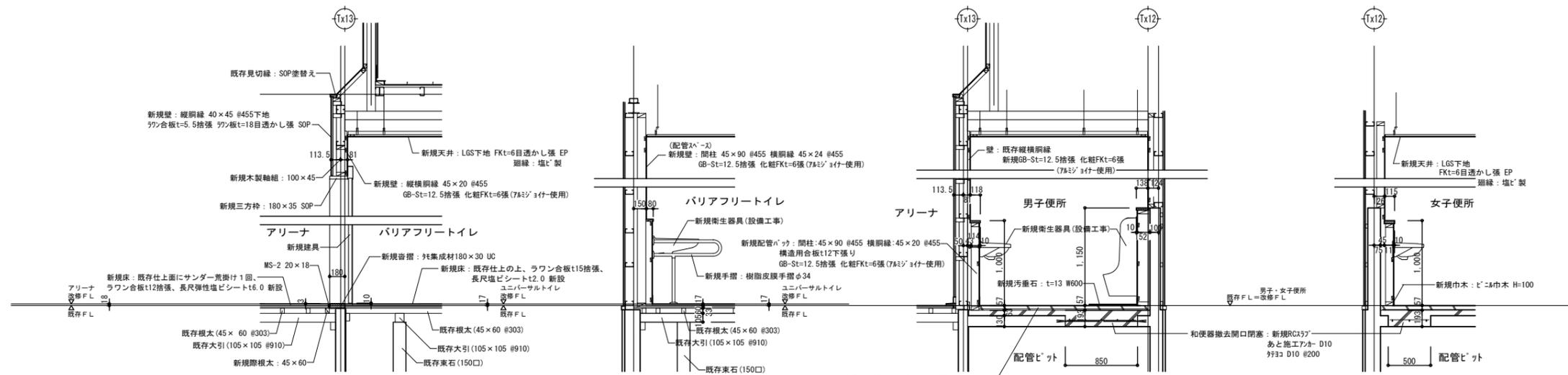
工事名	岩手県立二戸地区特別支援学校 (仮称) 体育館改修 (建築) 工事	製図	担当	検印	特記	作成日	2024/05	図面名	改修 玄関・各便所 平面詳細図、展開図	縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100	区分	建築意匠	図面番号	A-23
						設計番号	2023-001								



ホール～便所(車椅子)部 断面詳細図 1/30



スロープ断面詳細図 1/30



I部断面詳細図 S=1/30

K部断面詳細図 S=1/30

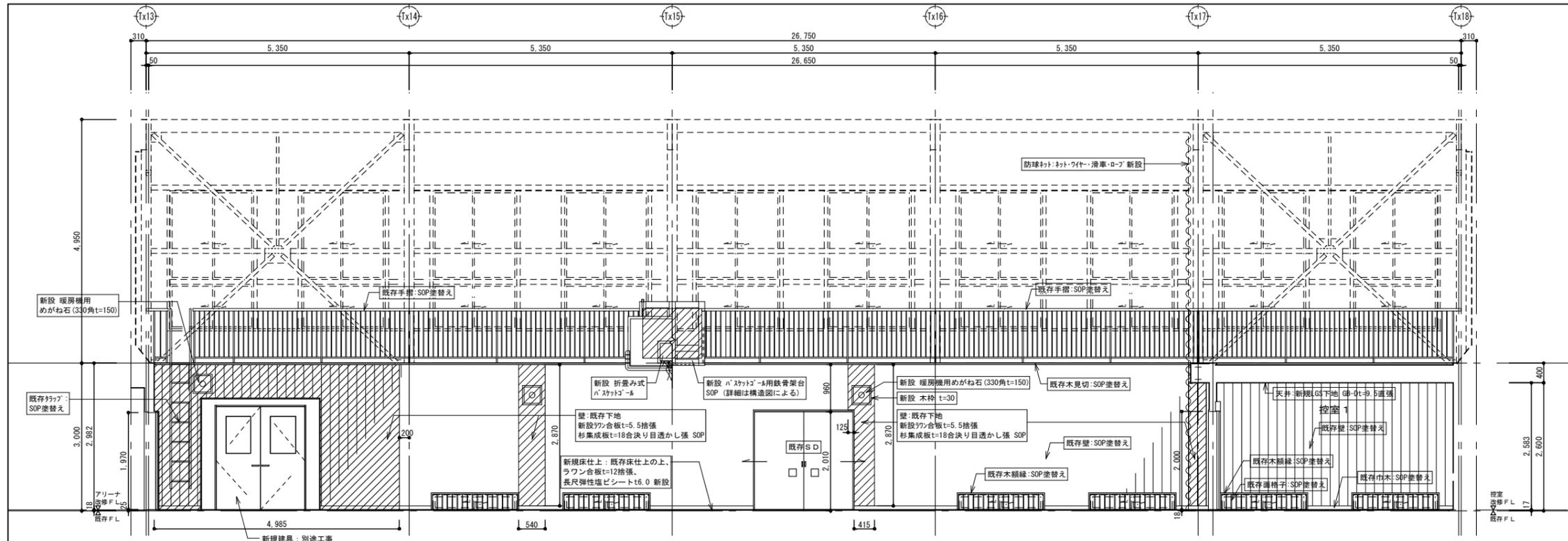
H部断面詳細図 S=1/30

N部断面詳細図 S=1/30

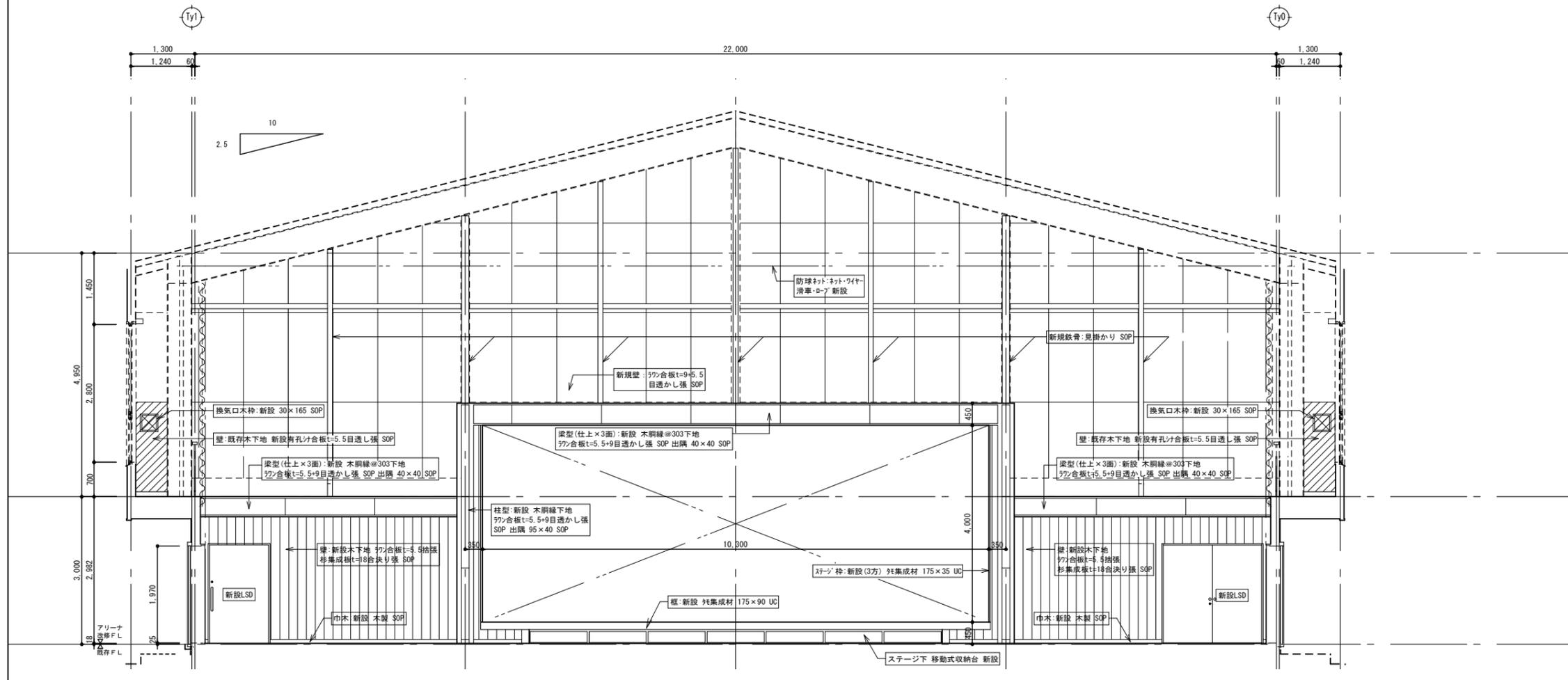
共通して塗装については、  
下地調整B種 (RB種) 塗装B種とする。

共通して設備取付部は  
下地の上、構造用合板t12下張り

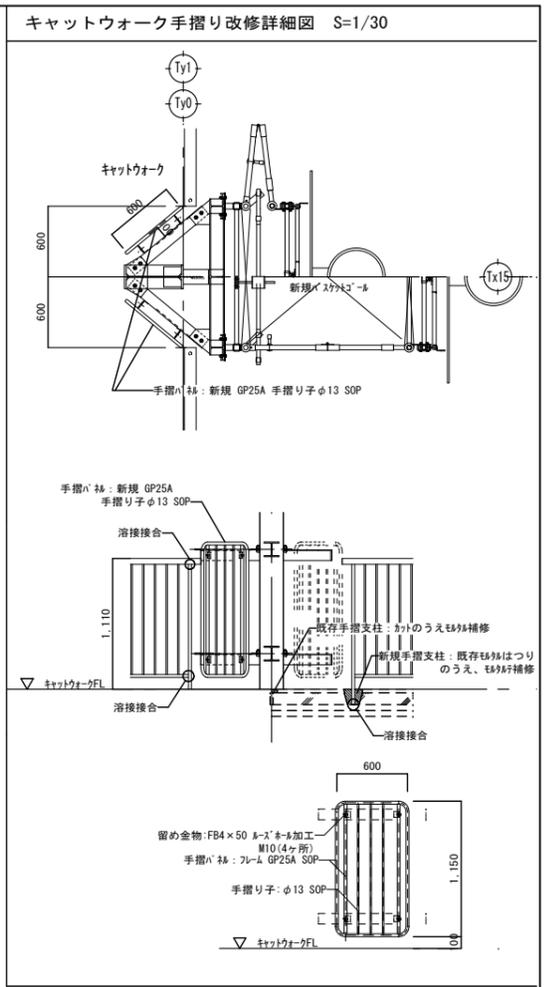
工 事 名	岩手県立二戸地区特別支援学校 (仮称) 体育館改修 (建築) 工事	製 図	担 当	検 印	註 記	作 成 日	2024/05	図 面 名	改 修 部 分 詳 細 図	縮 尺	区 分	図 面 番 号
						設計番号	2023-001					



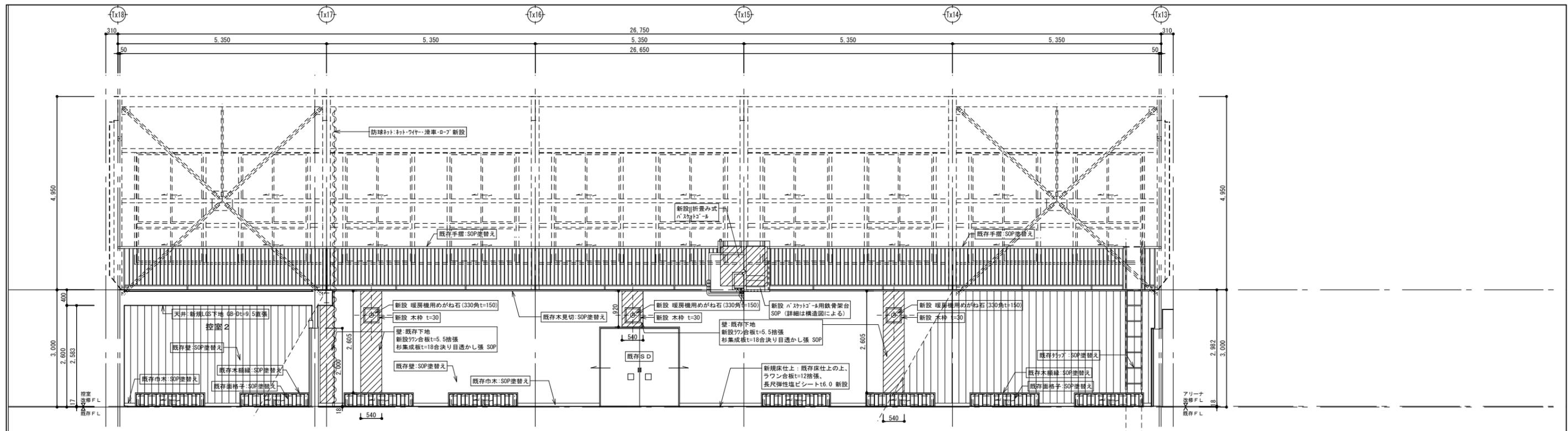
アリーナ A 共通して塗装については、下地調整B種 (R2種) 塗装B種とする。



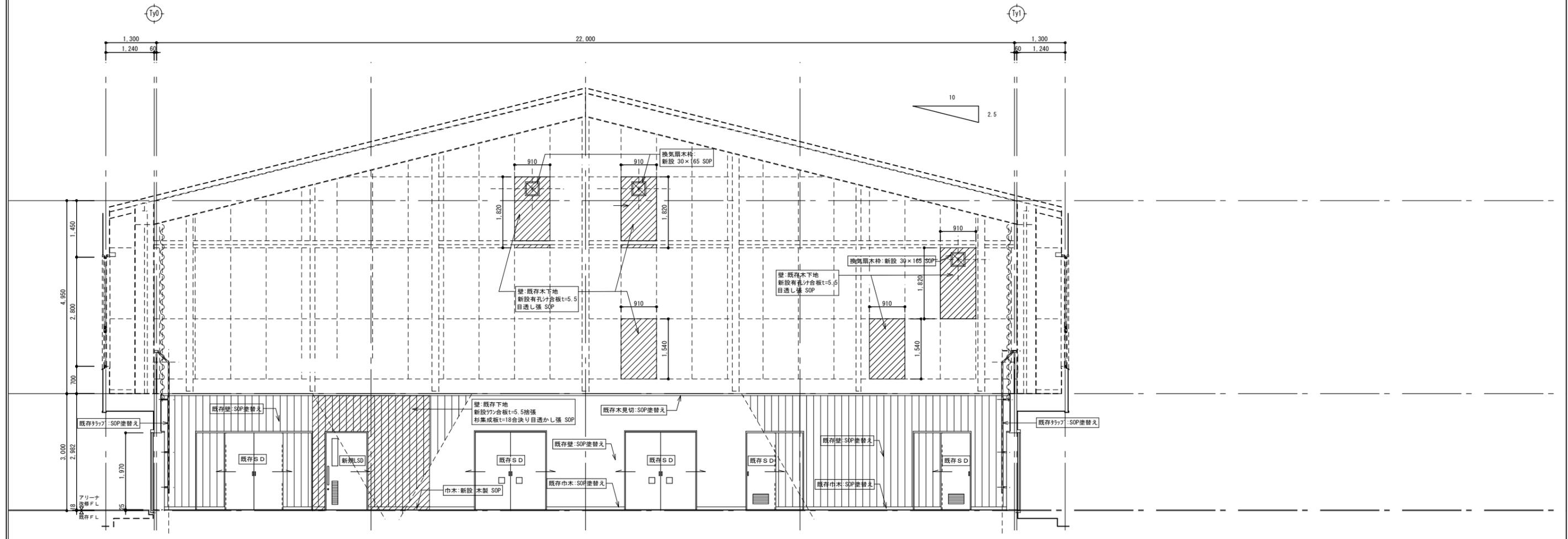
アリーナ B 共通して塗装については、下地調整B種 (R2種) 塗装B種とする。



工事名	岩手県立二戸地区特別支援学校 (仮称) 体育館改修 (建築) 工事	製図	担当	検印	登録	作成日	2024/05	図面名	改修 アリーナ展開図 1	縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100 1/60	区分	建築意匠	図面番号	A-25
		設計番号	2023-001												

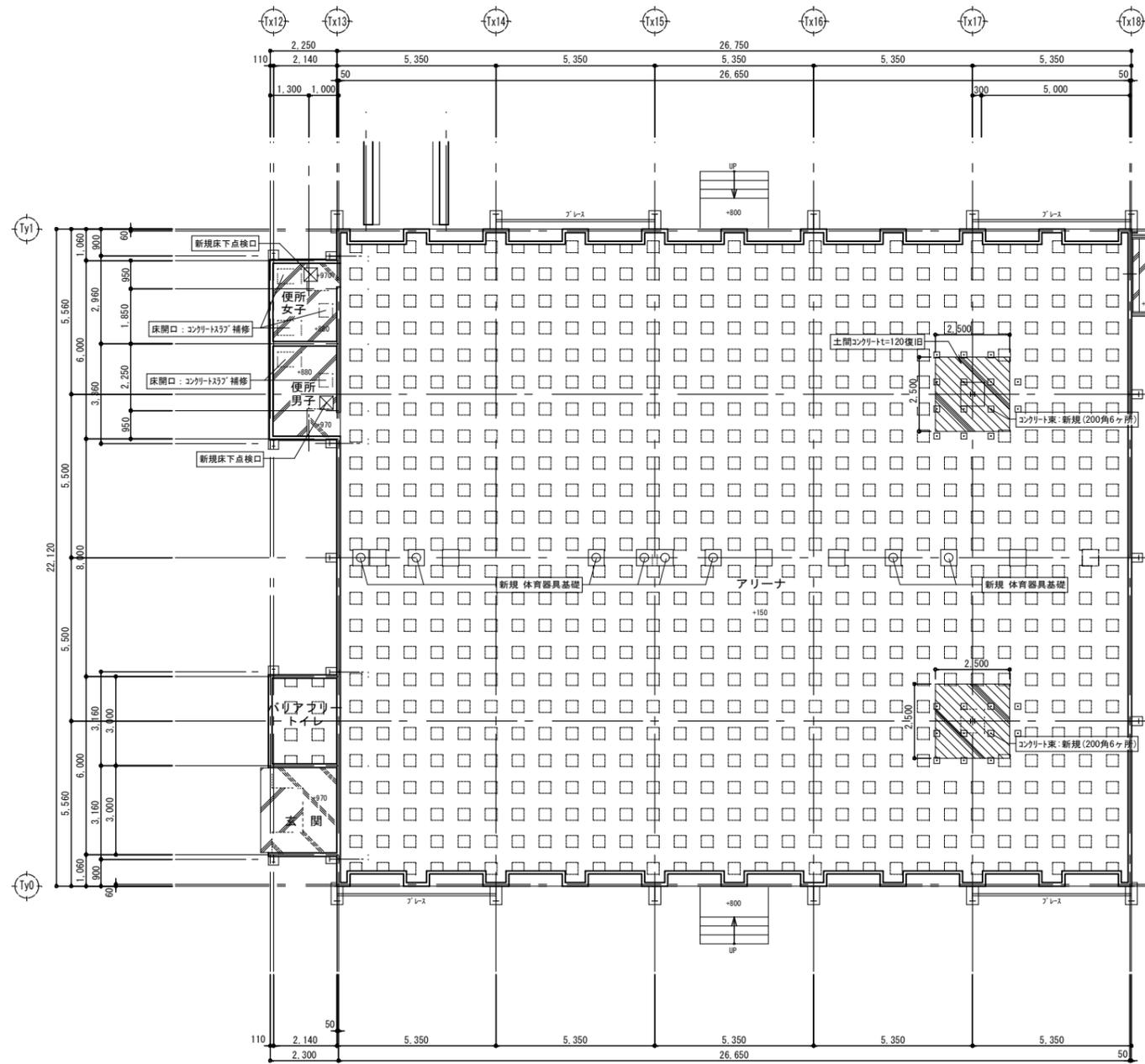


アリーナ C  
共通して塗装については、  
下地調整B種 (RB種) 塗装B種とする。

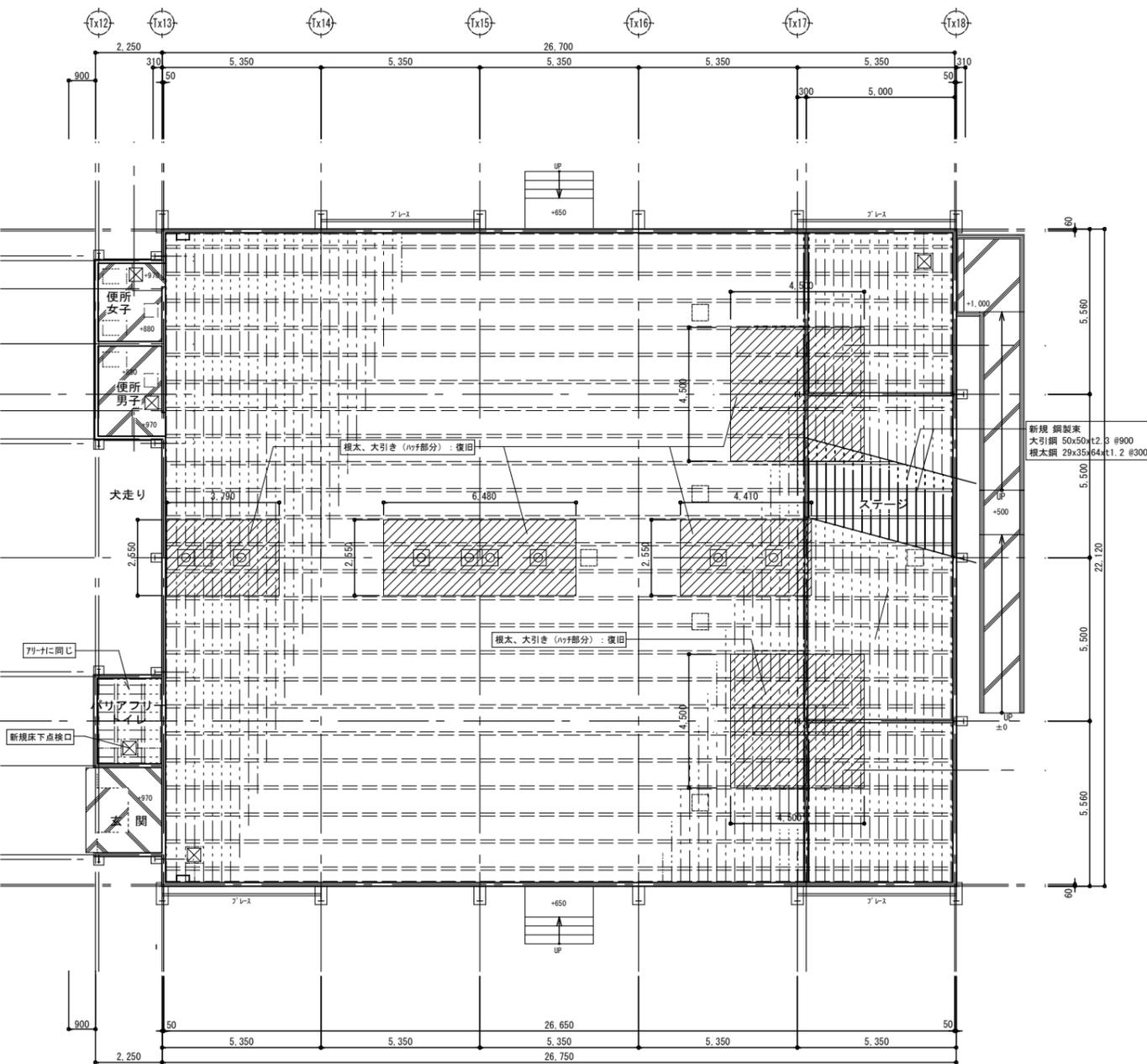


アリーナ D  
共通して塗装については、  
下地調整B種 (RB種) 塗装B種とする。

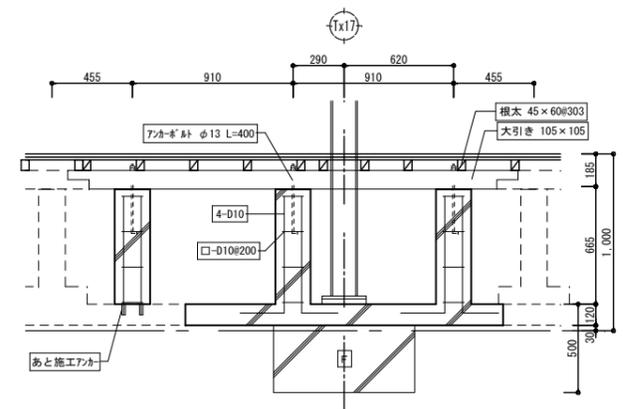
工事名	岩手県立二戸地区特別支援学校 (仮称) 体育館改修 (建築) 工事	製	担	検	印	製	日	2024/05	図面名 改修 アリーナ展開図2	縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	区分 建築意匠	図面番号 A-26
		図	当	査	印	記	成	2023-001				



床東伏図 S=1/100



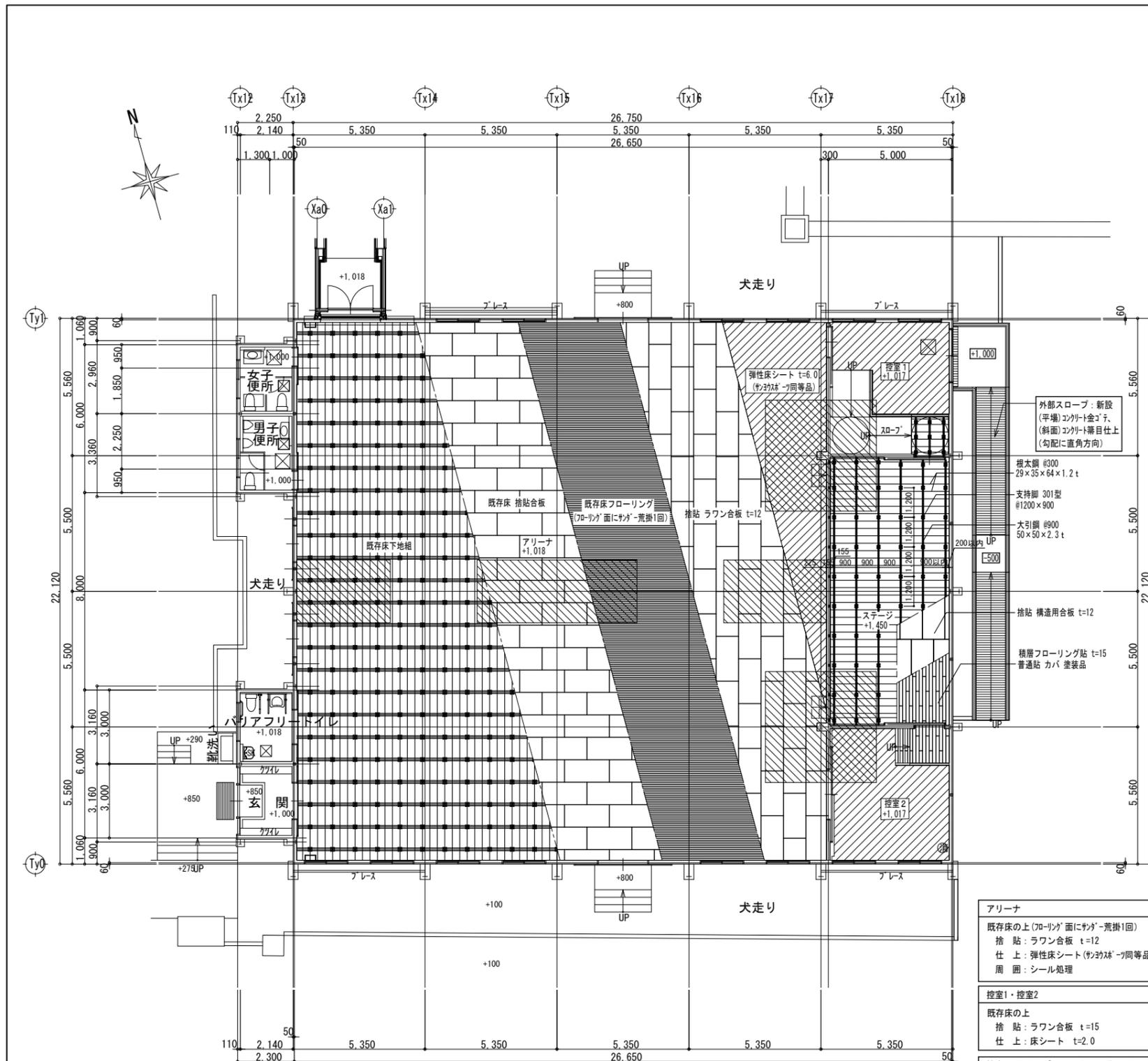
床組伏図 S=1/100



新規 コンクリート束廻り詳細図 S=1/20

※ 破線は既存を示す

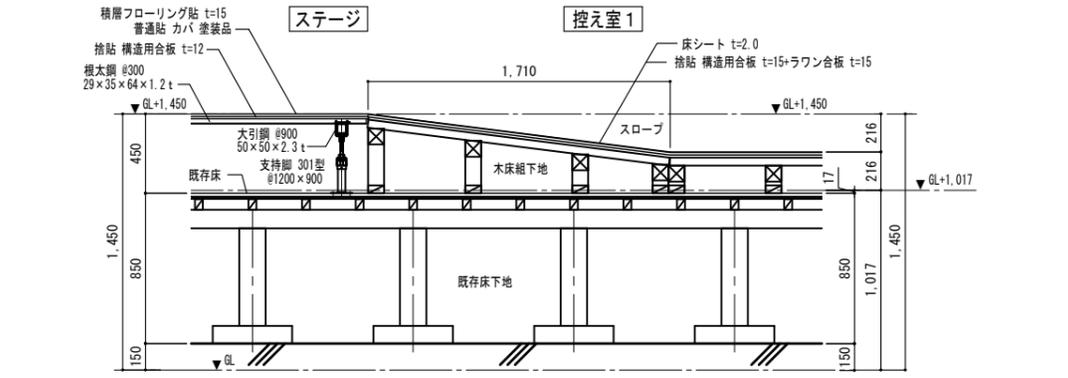
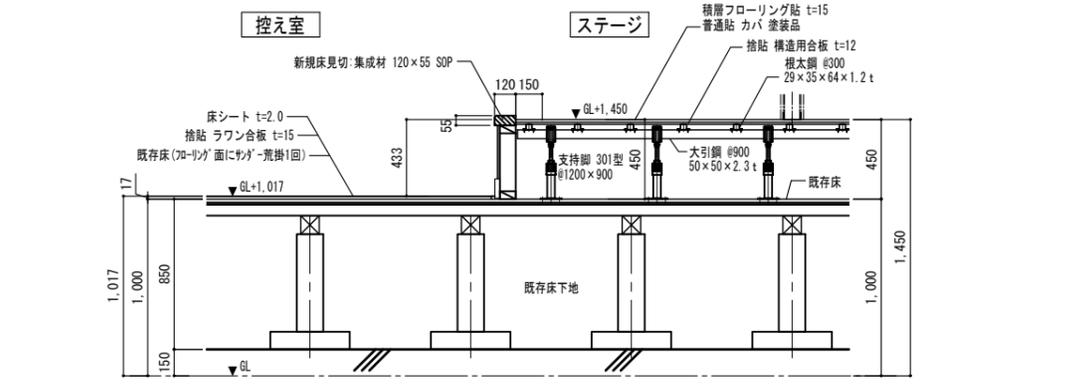
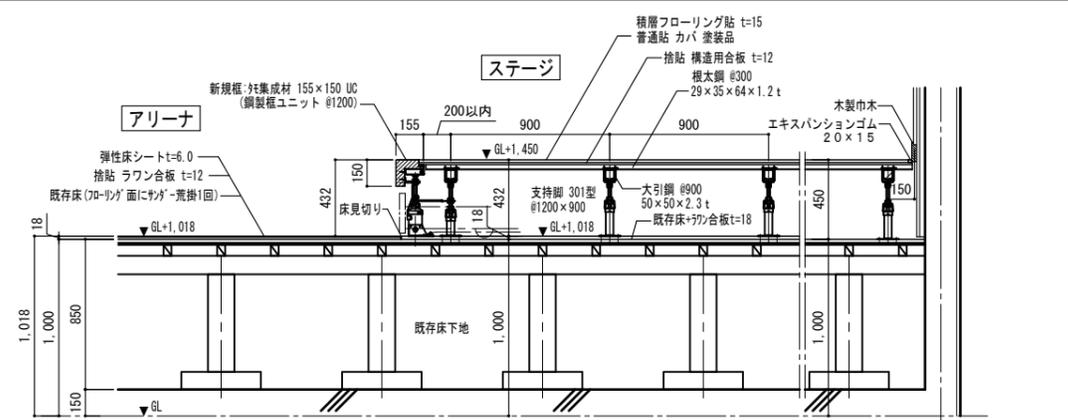
工 事 名	岩手県立二戸地区特別支援学校 (仮称) 体育館改修 (建築) 工事	製 図	担 当	検 印	註 記	作 成 日	2024/05	図面名 改修 床伏図 1	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200 1/40	区 分 建築意匠	図面番号 A-27
		設計番号	2023-001								



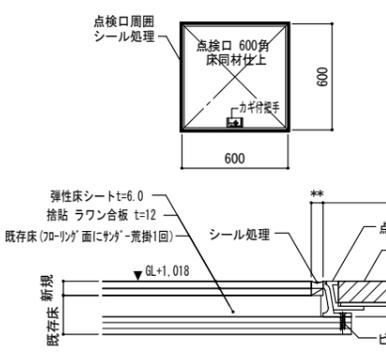
屋内運動場 床平面図 S=1/100

凡例  
 鋼製床下地  
 既存床下地  
 根太、大引き、捨張合板 (n/f部分) : 復旧、  
 ラワン合板t18下地張 (既存アリーナF.Lと同レベル) の上、  
 各室下地、仕上 新設

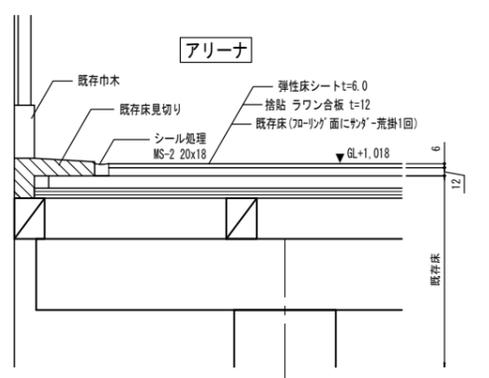
- アリーナ** GL+1.018  
 既存床の上 (70-リッパ'面にサグ'-荒掛1回)  
 捨 貼: ラワン合板 t=12  
 仕 上: 弾性床シート (サグ対策'-フ同等品) t=6.0  
 周 囲: シール処理
- 控室1・控室2** GL+1.017  
 既存床の上  
 捨 貼: ラワン合板 t=15  
 仕 上: 床シート t=2.0
- 控室1: スロープ** GL+1.017~+GL+1.450・H=0~450  
 既存床の上、木組下地  
 捨 貼: 構造用合板 t=15+ラワン合板 t=15  
 仕 上: 床シート t=2.0
- ステージ・控室1・控室2** GL+1.450・H=450  
 鋼製床下地  
 収納台車部分: 既存床の上、70合板t=18貼 (レ'調整用)  
 支持脚 301型 (サ'-トサ'フ) @1200×900  
 大引脚: 50×50×2.3 t @900  
 根太脚: 29×35×64×1.2 t @300  
 捨 貼: 構造用合板 t=12  
 仕 上: 積層フローリング貼 t=15  
 普通貼 カバ 塗装品  
 周 囲: エキスパンションゴム 20×15取付



屋内運動場 床断面図 S=1/20

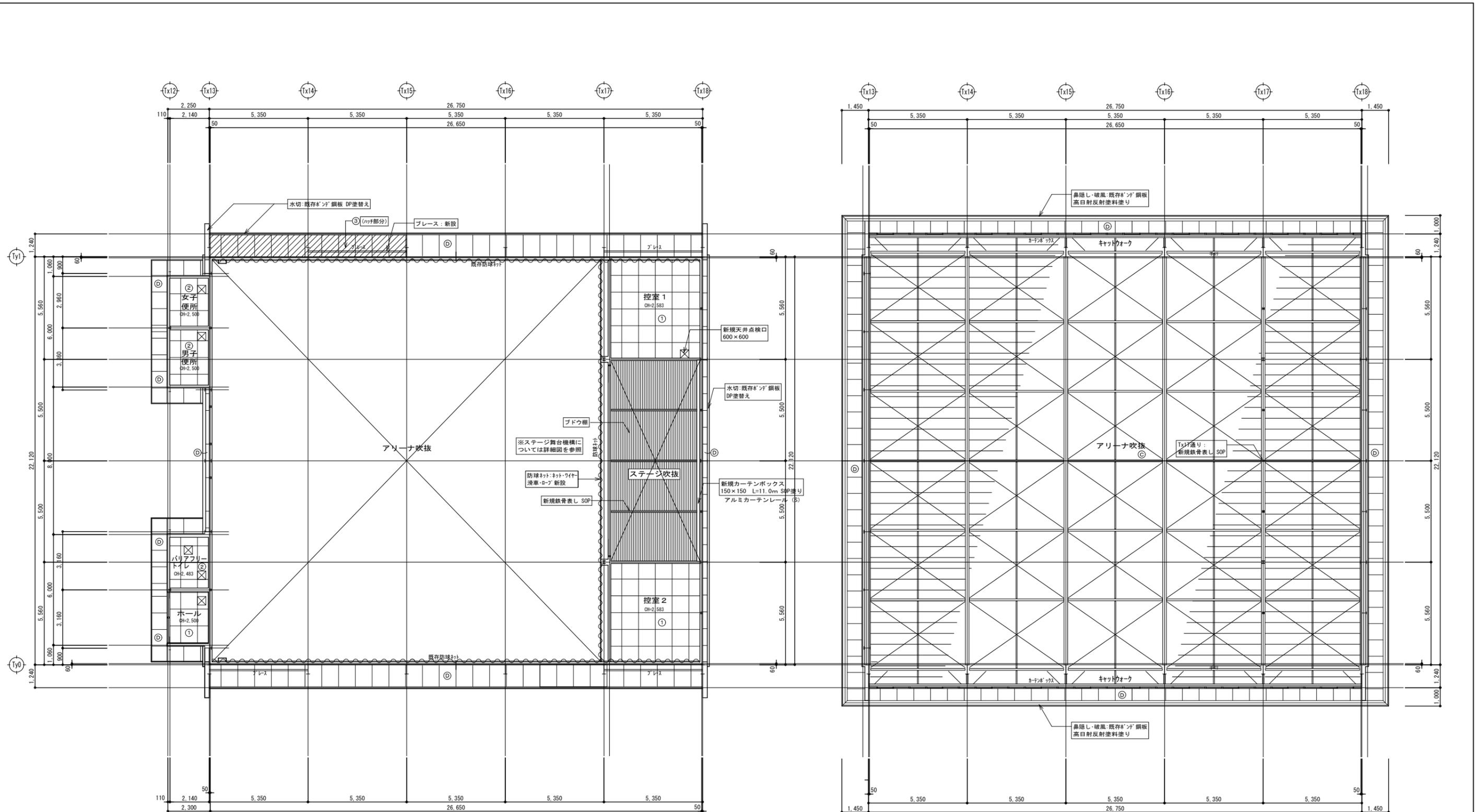


床点検口取付詳細図 S=1/20



床端部納まり図 S=1/5

工事名	岩手県立二戸地区特別支援学校 (仮称) 体育館改修 (建築) 工事	製 図	担 当	検 印	登 記	作 成 日	2024/05	図面名	改修 床伏図 2	縮尺	A1: 図示 A3: 図示	区 分	建築意匠	図面番号	A-28
		設計番号	2023-001												



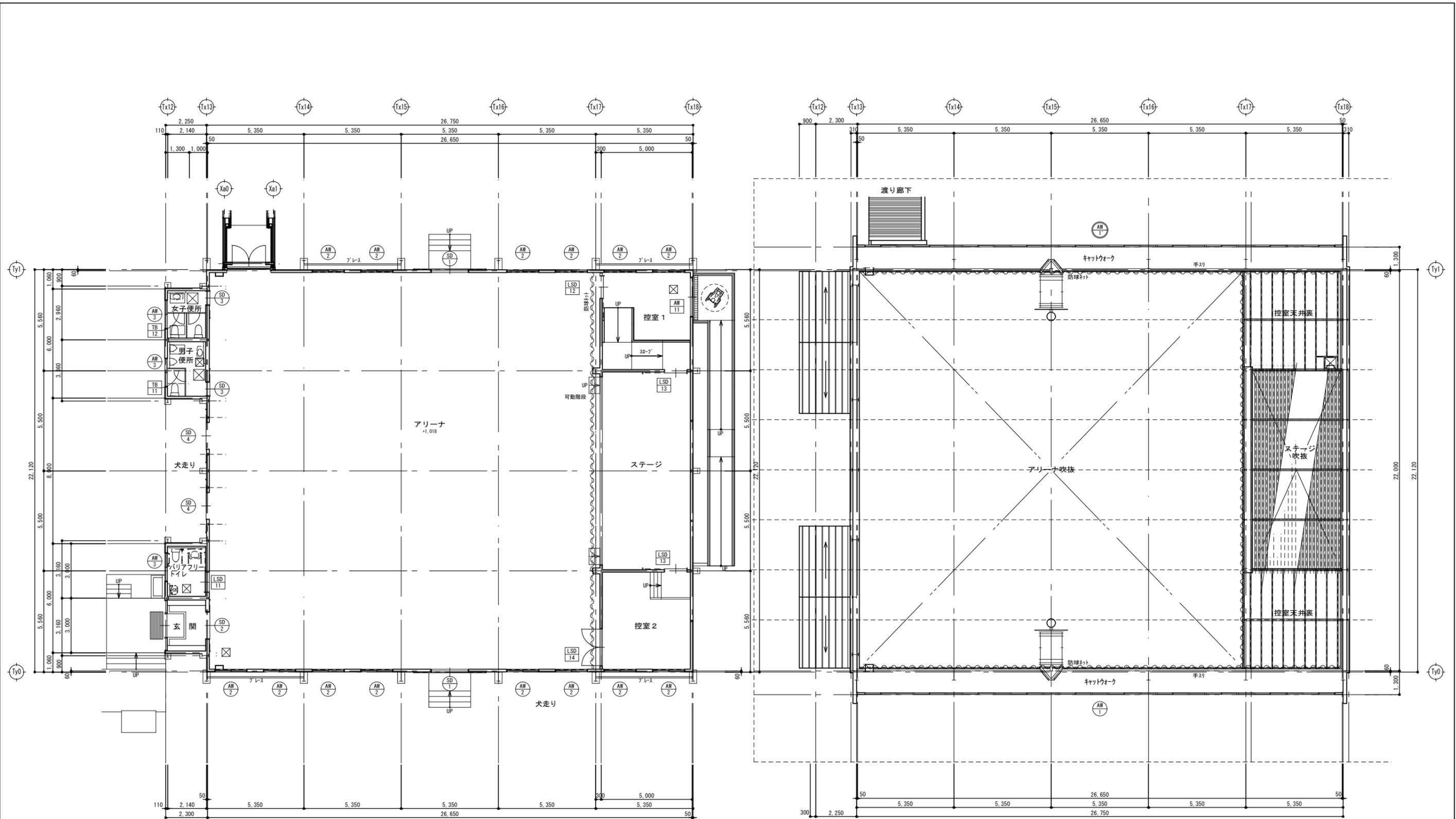
1階天井伏図

キャットウォーク天井伏図

凡例	
①	新規LGS下地 GB-D t=9.5直張 樹脂製張り縁
②	新規LGS下地 FK t=6 目透かし張 EP 樹脂製張り縁
③	既存LGS下地 新規F t=5 (H型ジョイナー) EP-G
Ⓐ	LGS下地 化粧石膏板 t=9 (910角) 直張
Ⓑ	LGS下地 フレキシッド t=5 目透かし張 VP
Ⓒ	野地板表裏 鉄部OP塗
Ⓓ	EP-G塗替え
ⓧ	新規天井点検口 450角 7&3製

共通して塗装については、  
下地調整8種 (R8種) 塗装8種とする。

工事名	岩手県立二戸地区特別支援学校 (仮称) 体育館改修 (建築) 工事	製図	担当	検印	登録	作成日	2024/05	図面名	改修 天井伏図	縮尺	A1: 1/100 A3: 1/200	区分	建築意匠	図面番号	A-29
		設計番号	2023-001												



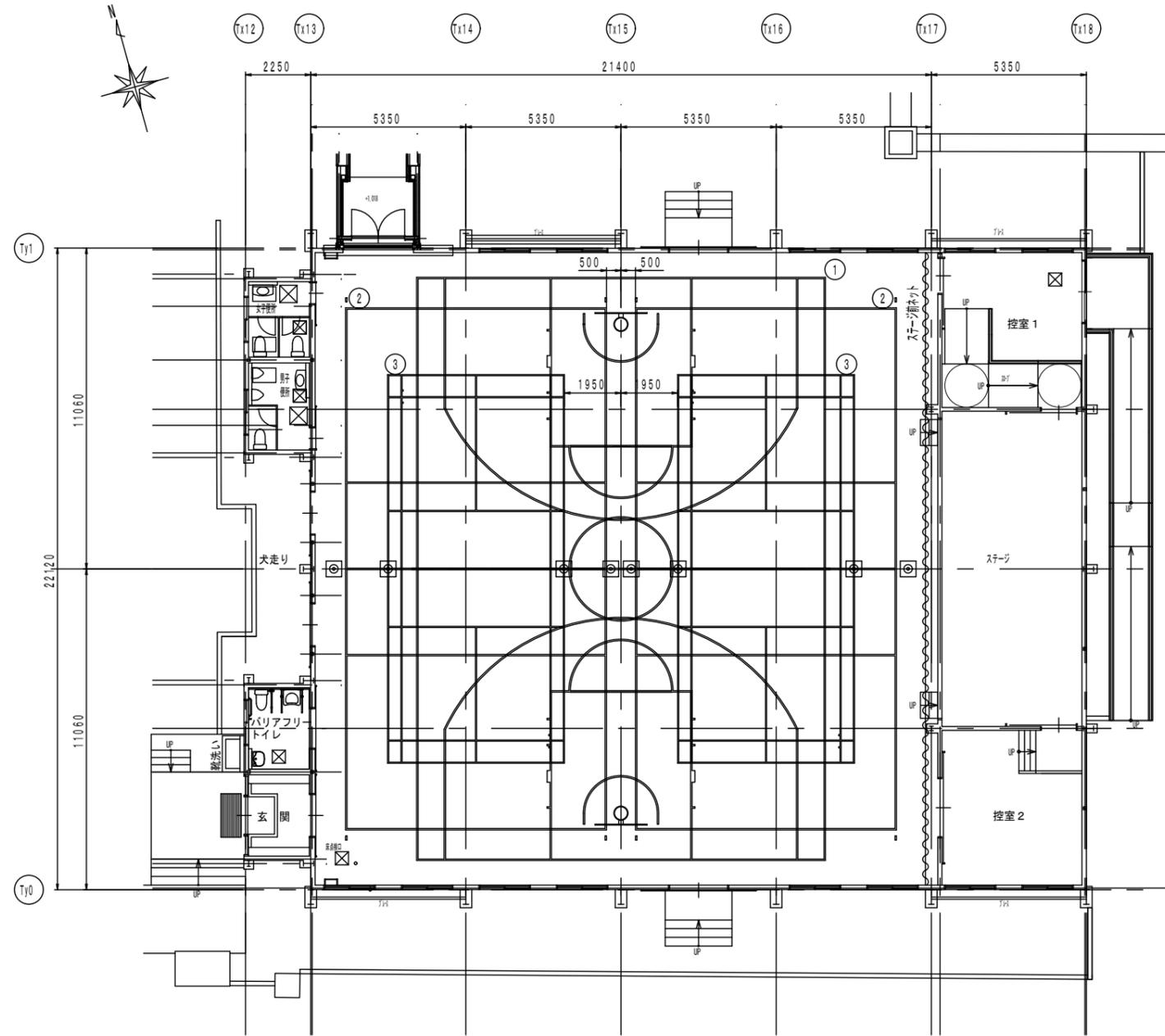
工 事 名	岩手県立二戸地区特別支援学校（仮称） 体育館改修（建築）工事	製 図	担 当	検 印	註 記	作 成 日	2024/05	図面名	縮 尺	区 分	図面番号
						設計番号	2023-001	改修 建具配置図	A1: 1/100 A3: 1/200	建築意匠	A-30

記号・型式	ALM F1X付引き違い2段10連窓	ALM2 アルミ引き違い2連窓	ALM3 アルミ引き違い2連窓
取付場所・数量	キャットウォーク	アリーナ	バリアフリートイレ、男子便所、女子便所
改修工事内容	既存のまま：2ヶ所	既存のまま	網戸新設
形状 種類 寸法 (開閉方式)			
建具金物	クレセント、無目、方立、額縁アングル、皿板(56mm)	クレセント、外部3方7&#248;額縁、皿板(56mm)、内部額縁アングル	クレセント、外部3方7&#248;額縁、皿板(56mm)、7&#248;額縁、額縁アングル(器具室)、樹脂製網戸
硝子	NF6.8	70	シルバー
見込	一部 NF6.8→F4		
塗装			
その他			

記号・型式	ALM1 アルミFIX付引き分け戸	SP1 スチール引き分けハンガーフロッグ戸	SP2 スチール引き分けフロッグ戸	SP3 スチール引き分けハンガーフロッグ戸	SP4 スチール引き分けハンガーフロッグ戸
取付場所・数量	玄関	アリーナ	玄関	便所前室	アリーナ
改修工事内容	既存のまま	SOP塗替(枠共)、可動金物取り替え	SOP塗替(枠共)、可動金物取り替え	SOP塗替(枠共)、可動金物取り替え	SOP塗替(枠共)、可動金物取り替え
形状 種類 寸法 (開閉方式)					
建具金物	錠、額縁アングル(3方内外)、方立、ステンスUレール、中央戸当り	掛金、ドアホン、トラックラケット、中央戸当りガイドレール(水切付加工)、ステンス引手	ステンス引手、中央戸当り、ステンス戸車、レール(枠共)	ステンス引手、ステンス戸車、レール(枠共)	掛金、ドアホン、トラックラケット、中央戸当りガイドレール(水切付加工)、ステンス引手
硝子	引戸: NP6.8	F4	298	298	F4
見込	FIX: FL5	280			214
塗装		下地調整 RB種、SOP B種	下地調整 RB種、SOP B種	下地調整 RB種、SOP B種	下地調整 RB種、SOP B種
その他				ガラス(山型)	

記号・型式	TB11 樹脂化粧ハネトリプルガラス	TB12 樹脂化粧ハネトリプルガラス	LSD11 ハンガ-軽量スチール引き戸	LSD12 ハンガ-軽量スチール引き戸	LSD13 ハンガ-軽量スチール引き戸	LSD14 軽量スチール開き戸	ALM11 7&#248;引き違い戸
取付場所・数量	男子便所	女子便所	バリアフリートイレ 便所(車椅子)	控室1	控室1、2	控室2	控室1
改修工事内容	新設	新設	新設	新設	新設	新設	新設
形状 種類 寸法 (開閉方式)							
建具金物	5&#248;トリセツ、ラッチストライク、帽子掛け戸当り	5&#248;トリセツ、ラッチストライク、帽子掛け戸当り	上半半自閉装置、ガイドローラ、抗菌把手(L450)	上半半自閉装置、ガイドローラ、抗菌把手(L450)	上半半自閉装置、ガイドローラ、抗菌把手(L450)	丁番、振り玉、寄摺フラット	クレセント、外部3方7&#248;額縁、フラットレール、下部除開蓋
硝子	30	30	TF4	TF4	TF4	TF4	7&#248;額縁、把手(L450)
見込			扉 40	扉 40	扉 40	扉 40	上部強化型4、下部7&#248;ハネ
塗装			か-鋼板	か-鋼板	か-鋼板	か-鋼板	扉 70
その他			枠 325	枠 325	枠 325	枠 325	か-鋼板

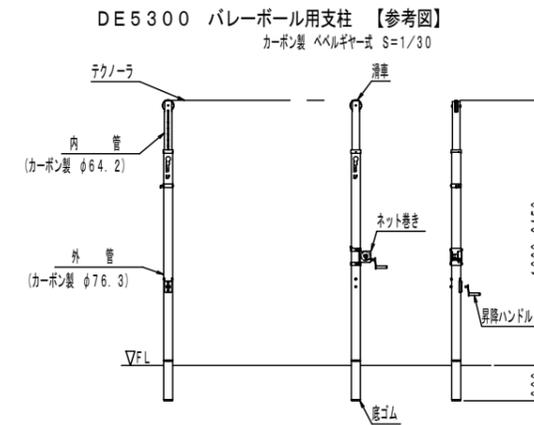
記号・型式															
取付場所・数量															
改修工事内容															
形状 種類 寸法 (開閉方式)															
建具金物															
硝子															
見込															
塗装															
その他															
工事名	岩手県立二戸地区特別支援学校(仮称) 体育館改修(建築)工事	製図	担当	検印	註記	作成日	2024/05	図面名	改修 建具表	縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100	区分	建築意匠	図面番号	A-31



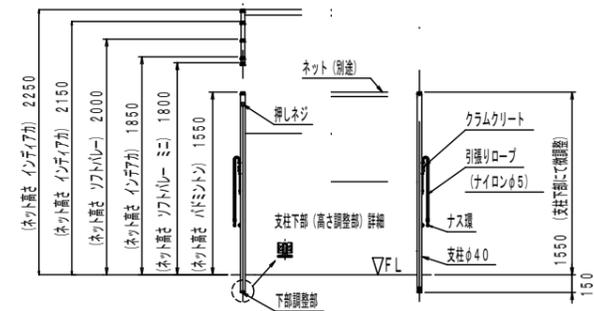
コート、体育器具配置図 S=1/100

コートライン内訳表				
記号	種別	寸法	面数	備考
1	バスケットボールコート	20000×14000	1面	実線 ライン幅50mm
2	バレーボールコート(6人制)	18000×9000	2面	実線 ライン幅50mm
3	バドミントンコート	13400×6100	2面	実線 ライン幅40mm

※コートライン色は現場打ち合わせにより決定実施。



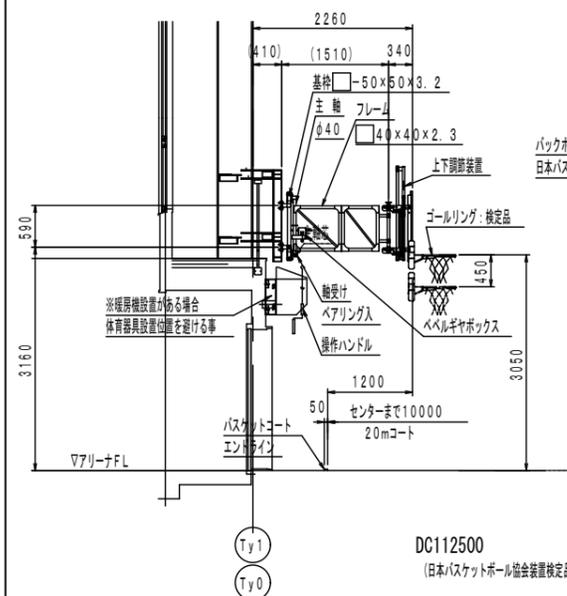
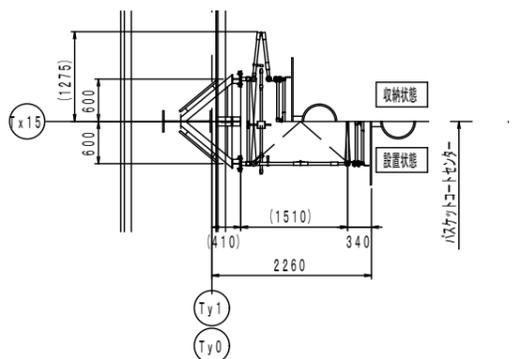
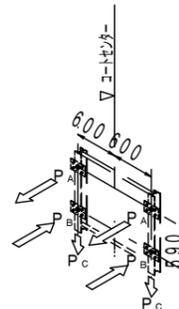
DE4521 兼用支柱(差込式)【参考図】 S=1/30  
日本バドミントン協会検定品



工事名	岩手県立二戸地区特別支援学校(仮称) 体育館改修(建築)工事	製図	担当	検印	登録	作成日	2024/05	図面名	改修 コートライン 支柱 詳細図	縮尺	A1: 1/100 A3: 1/30 1/60	区分	建築意匠	図面番号	A-32

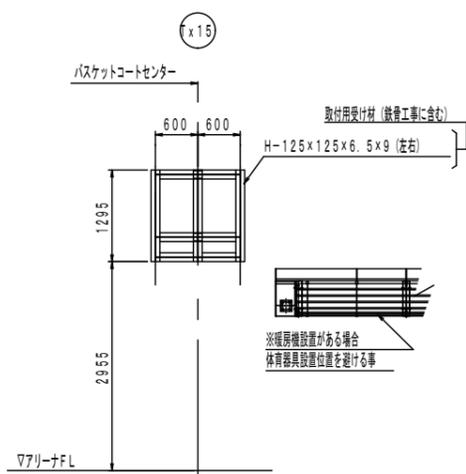
u 折畳バスケット 荷重参考値

全重量: 約230kg
リング先端にかかる短期荷重: 約1.5KN
PA: 取付上部にかかる引張荷重
短期(使用時) 約5.64KN
PB: 取付下部にかかる圧縮荷重(-PA)
短期(使用時) 約5.64KN
PC: 取付下部にかかる垂直荷重
短期(使用時) 約0.94KN

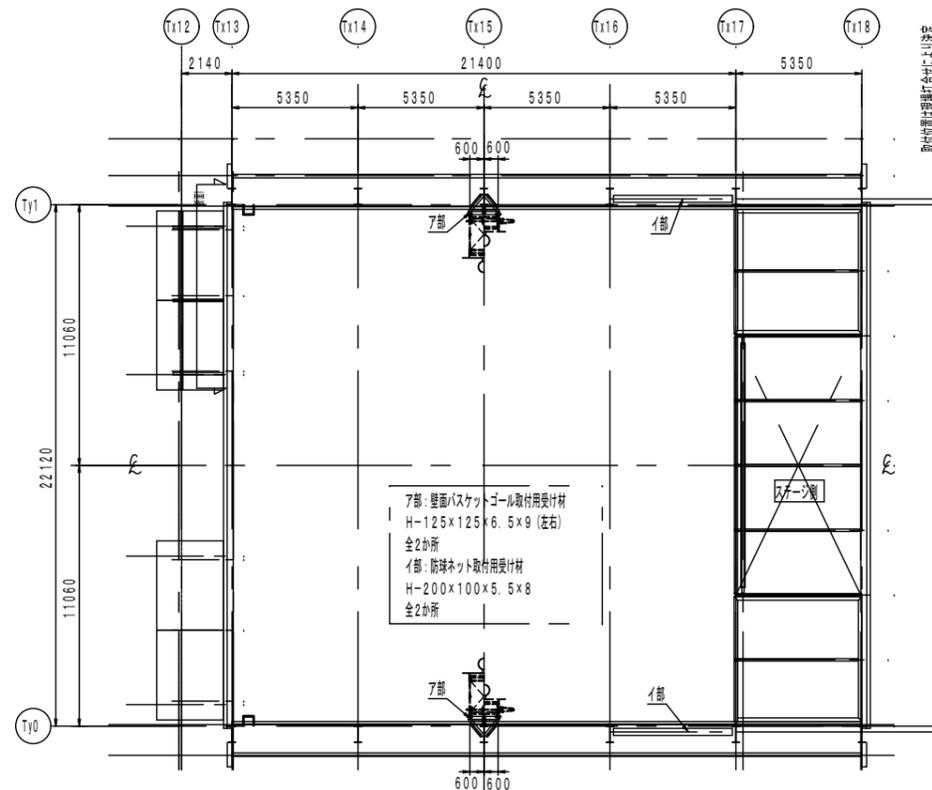


DC112500 折畳バスケットゴール (日本バスケットボール協会検定品) 床ハンドル操作式 S=1/50

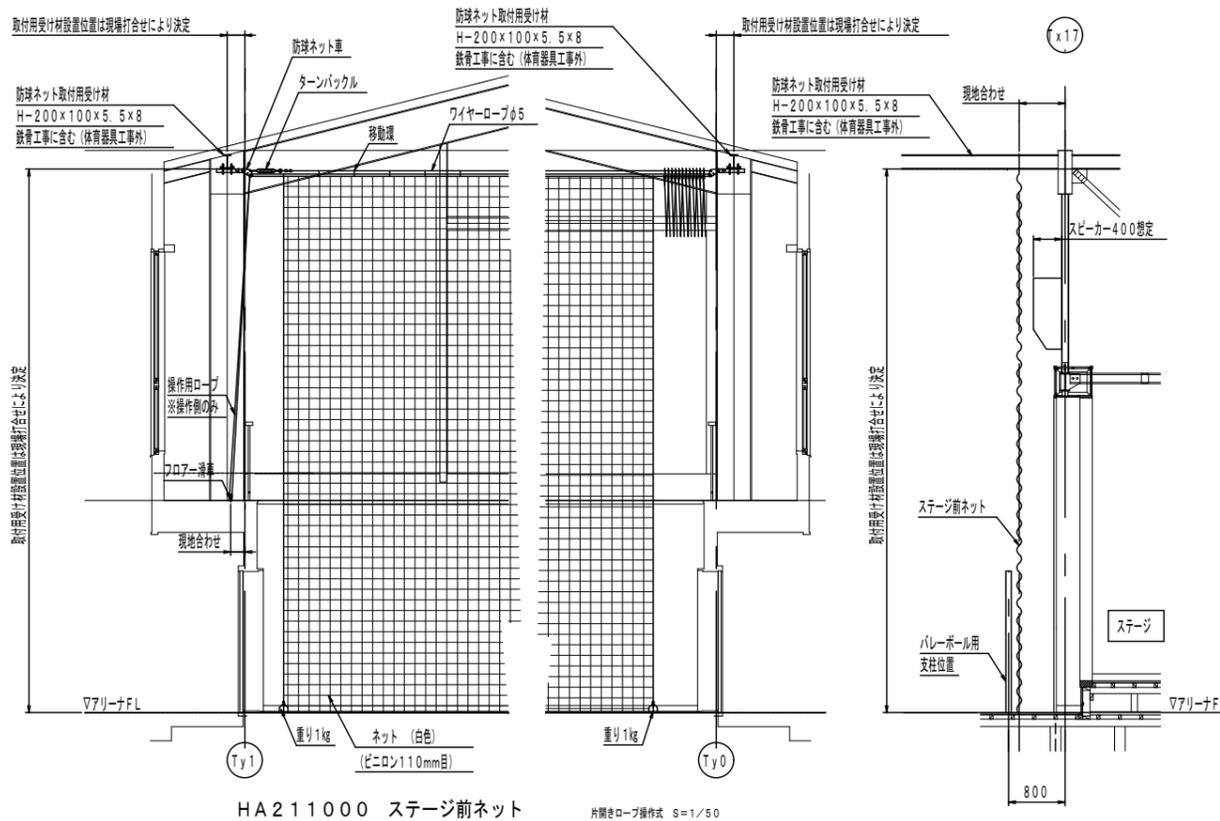
※体育器具取付工事にH鋼フランジ前側部分をプレートで挟み込みボルト止めにより施工実施。プレート取付箇所は鉄骨ジョイント等障害物が無き事。



折畳バスケットゴール 取付用受材 正面図 S=1/50 ※鉄骨工事に含む(体育器具工除外)

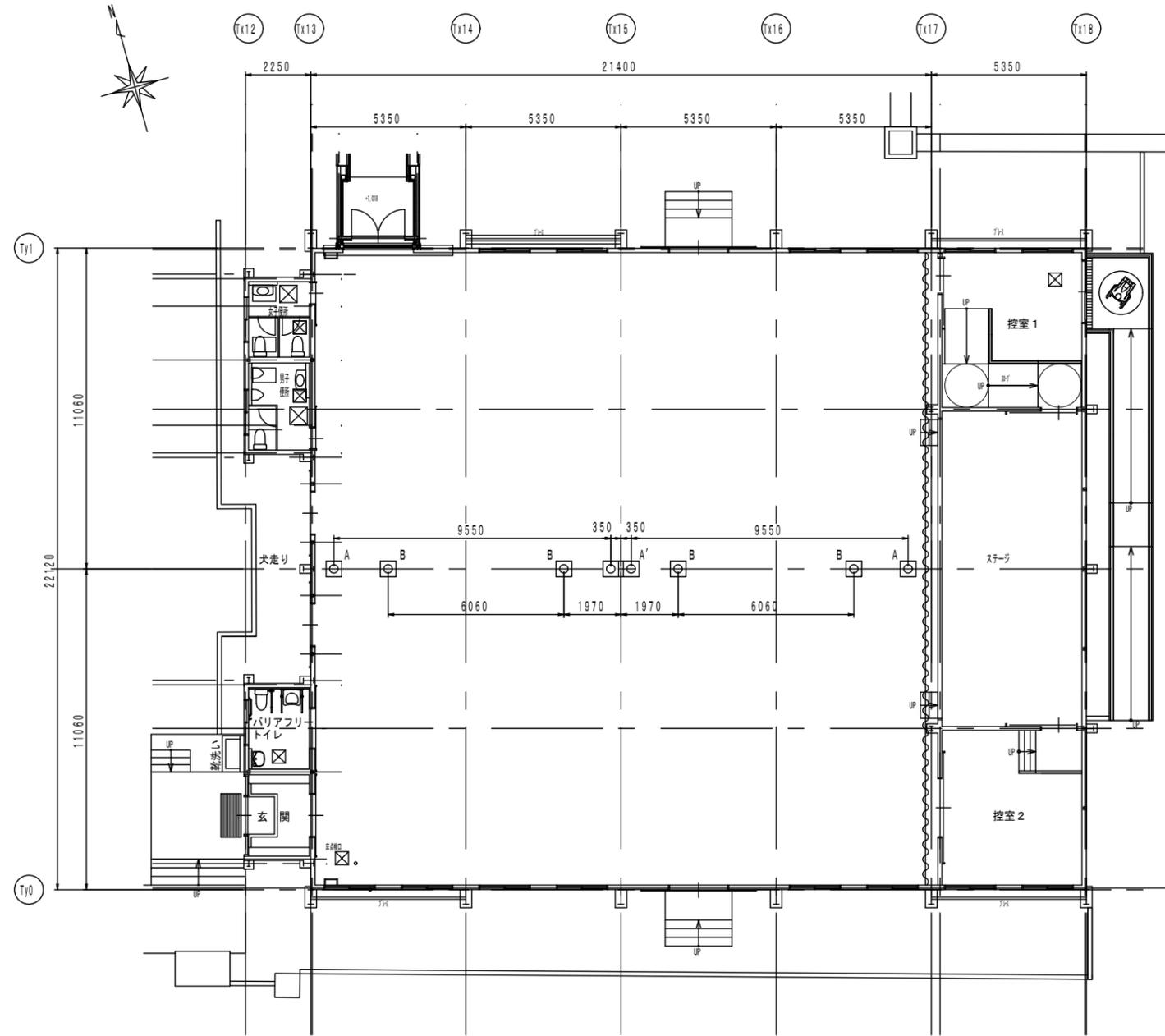


補強伏図 S=1/150 補強材は鉄骨工事に含む 補強鉄骨の取付位置等詳細は要図を参照のこと 体育器具取付範囲内は電灯を取付ないこと



HA211000 ステージ前ネット 片開きロープ操作式 S=1/50

工 事 名	岩手県立二戸地区特別支援学校(仮称) 体育館改修(建築)工事	製 図	担 当	検 印	註 記	作 成 日	2024/05	図 面 名	改修 バスケットゴール・防球ネット 詳細図	縮 尺	A1: 1/50	区 分	建築意匠	図 面 番 号	A-33
						設 計 番 号	2023-001				A3: 1/100				

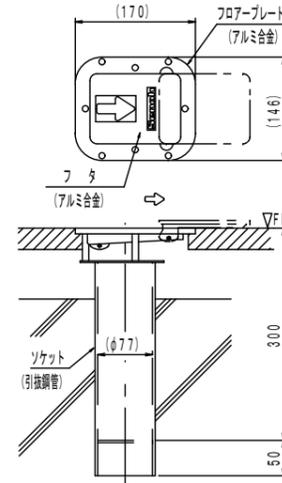


基礎配置図 S=1/100

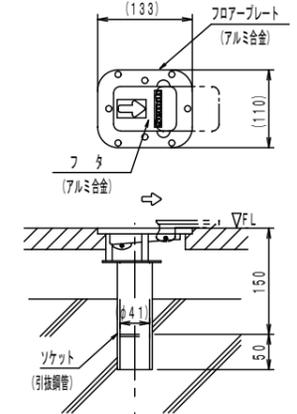
基礎内訳表		
A (A')	バレーボール用基礎	4個
B	バドミントン用基礎	4個
合 計		8個

※バレーボール用基礎(床金具)位置は建物合わせの為  
正確位置ではございません

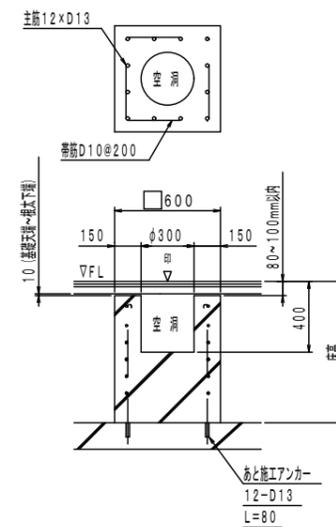
A部(A'部): KD0140 床金具AS型φ76用  
板張床用(バレーボール用) S=1/5



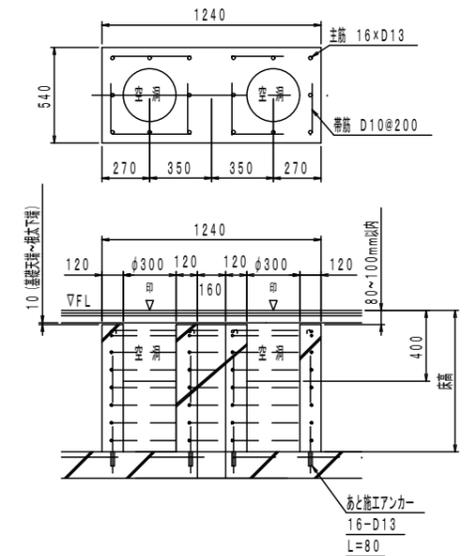
B部: KD0540 床金具AS型φ40用  
板張床用(バドミントン用) S=1/5



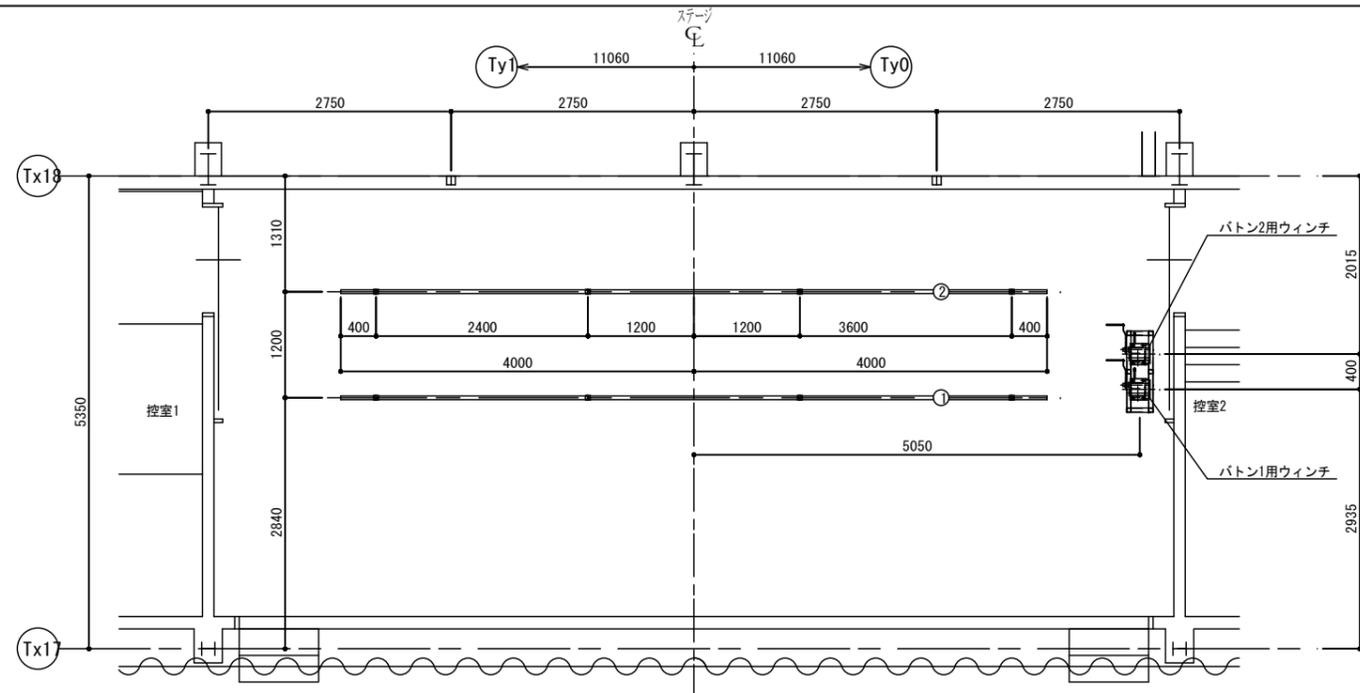
A、B部: 基礎詳細 S=1/20



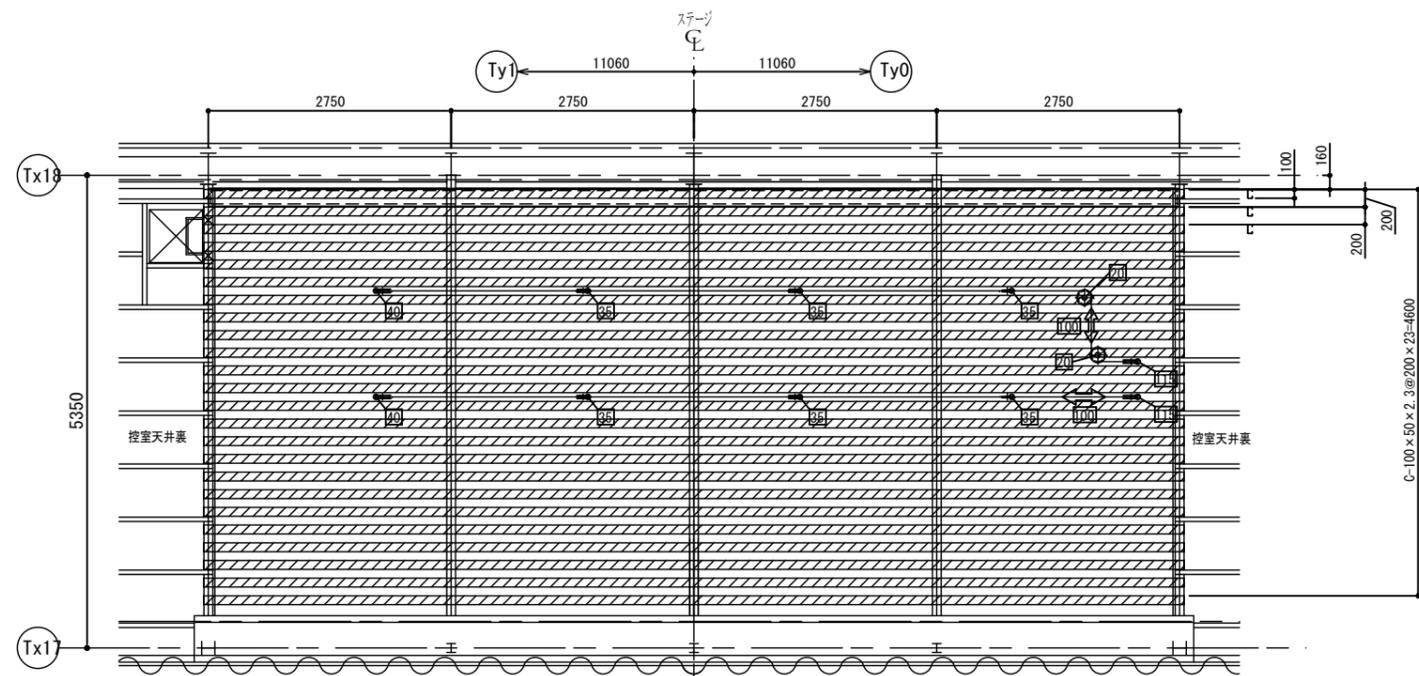
A'部: 基礎詳細 S=1/20



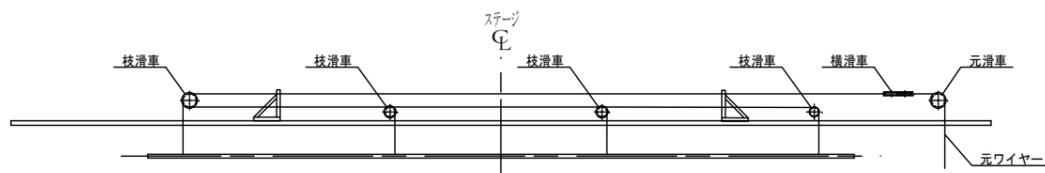
工事名	岩手県立二戸地区特別支援学校(仮称) 体育館改修(建築)工事	製 図	担 当	検 印	註 記	作 成 日	2024/05	図面名 改修 体育機器基礎 詳細図	縮尺 A1: 1/100 /20, /5 A3: 1/200 /40, /10	区 分 建築意匠	図面番号 A-34
		設 計 番 号				2023-001					



ステージ吊物装置配置平面図 縮尺：1/40

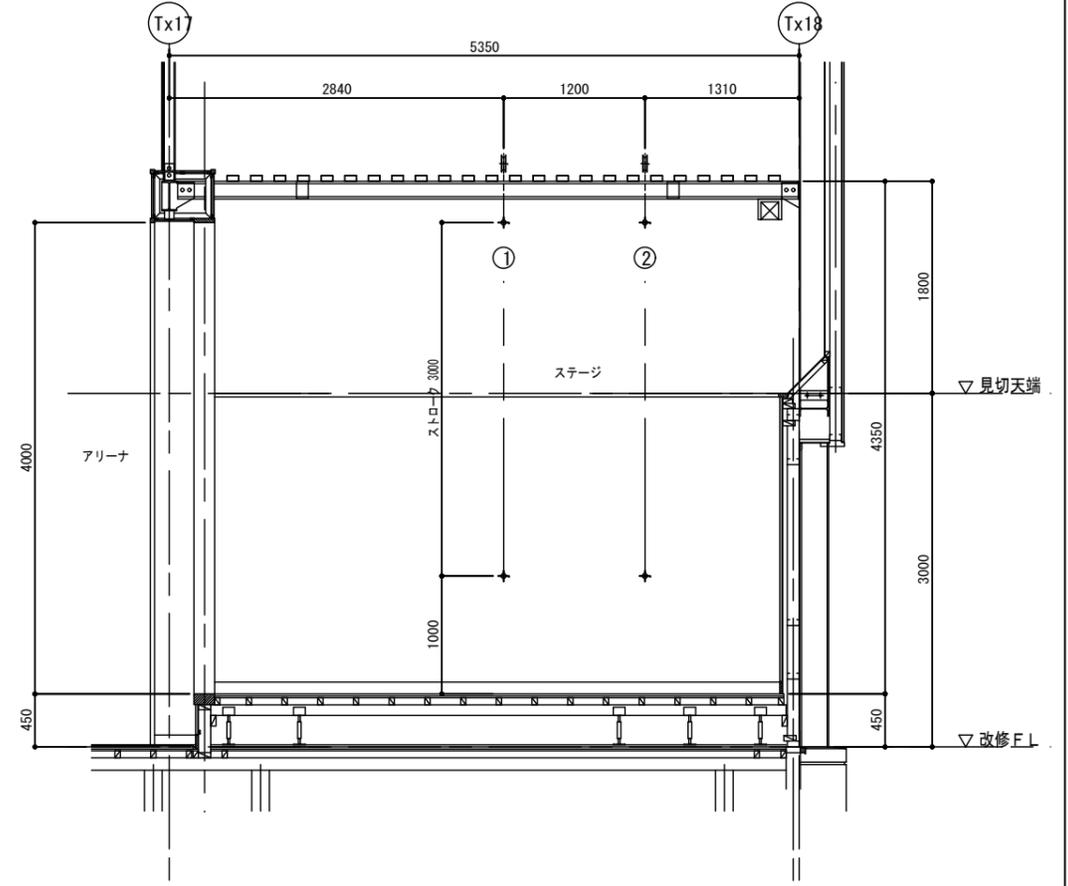


ブドウ棚上吊物装置配置平面図 縮尺：1/40

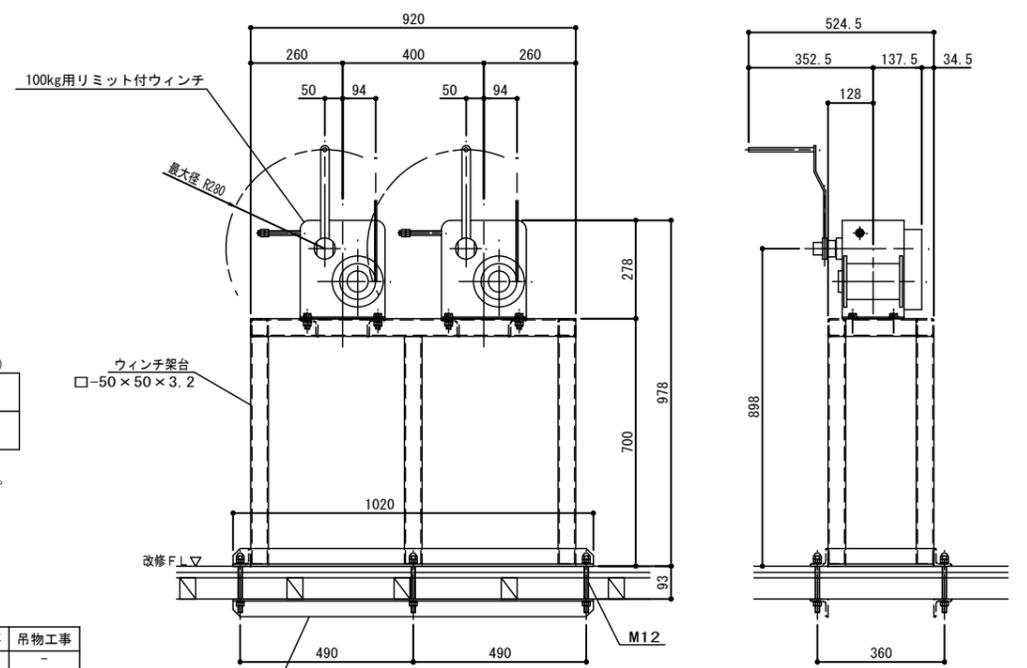


ブドウ棚上吊物装置配置断面図 縮尺：1/40

凡例 (単位はkg)  
 水平方向の荷重を示す。  
 垂直方向の荷重を示す。  
 注) 荷重は最大積載時の荷重を示す。  
 スノコ自重、他設備等の荷重は含まない。



ステージ吊物装置配置断面図 縮尺：1/30



手動ウインチ詳細図 縮尺：1/10  
 ※ステージ床下に入れること

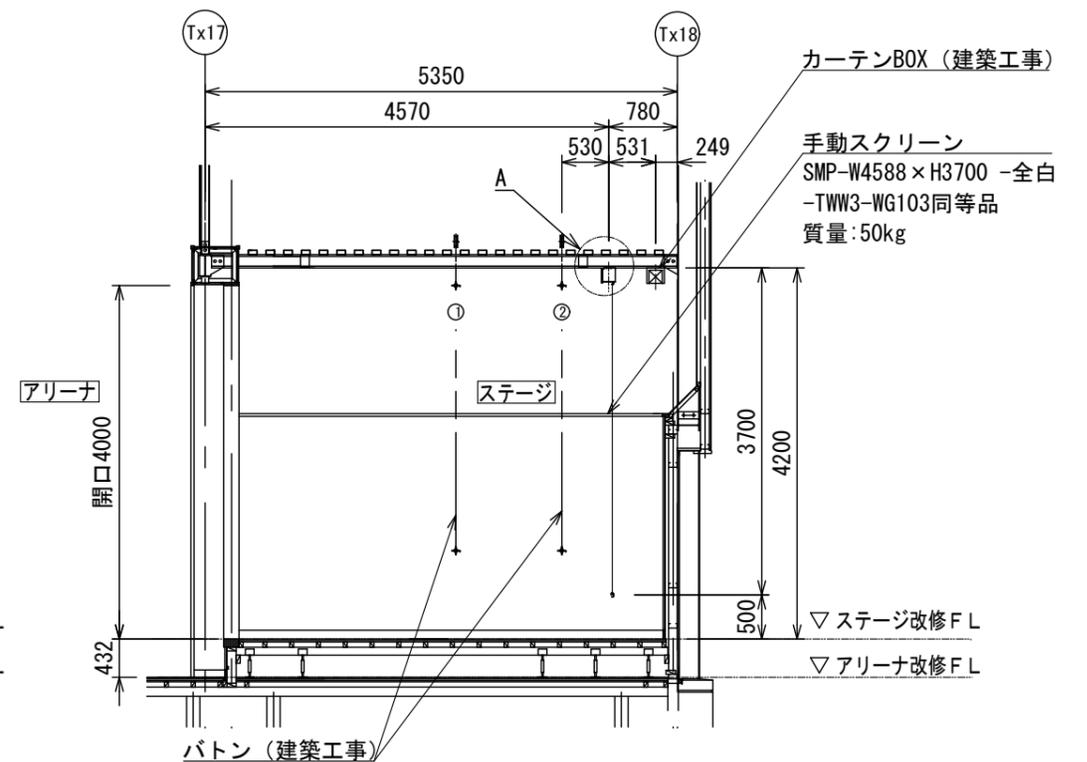
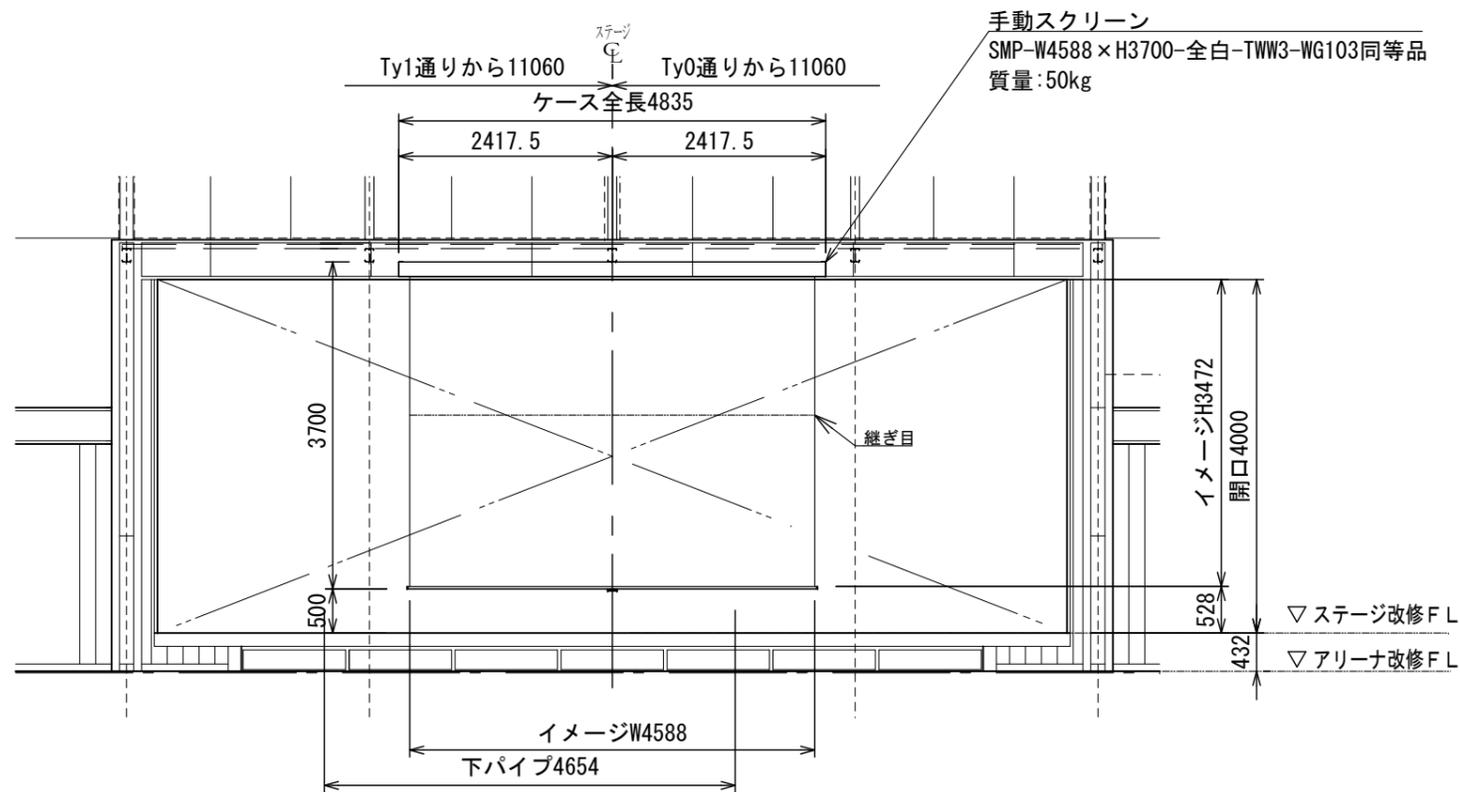
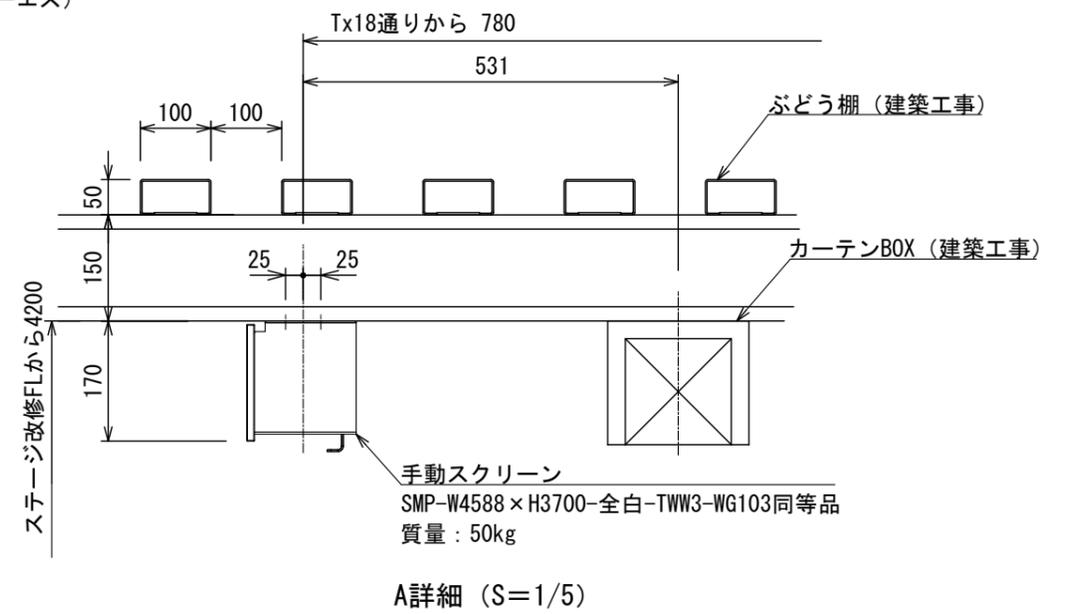
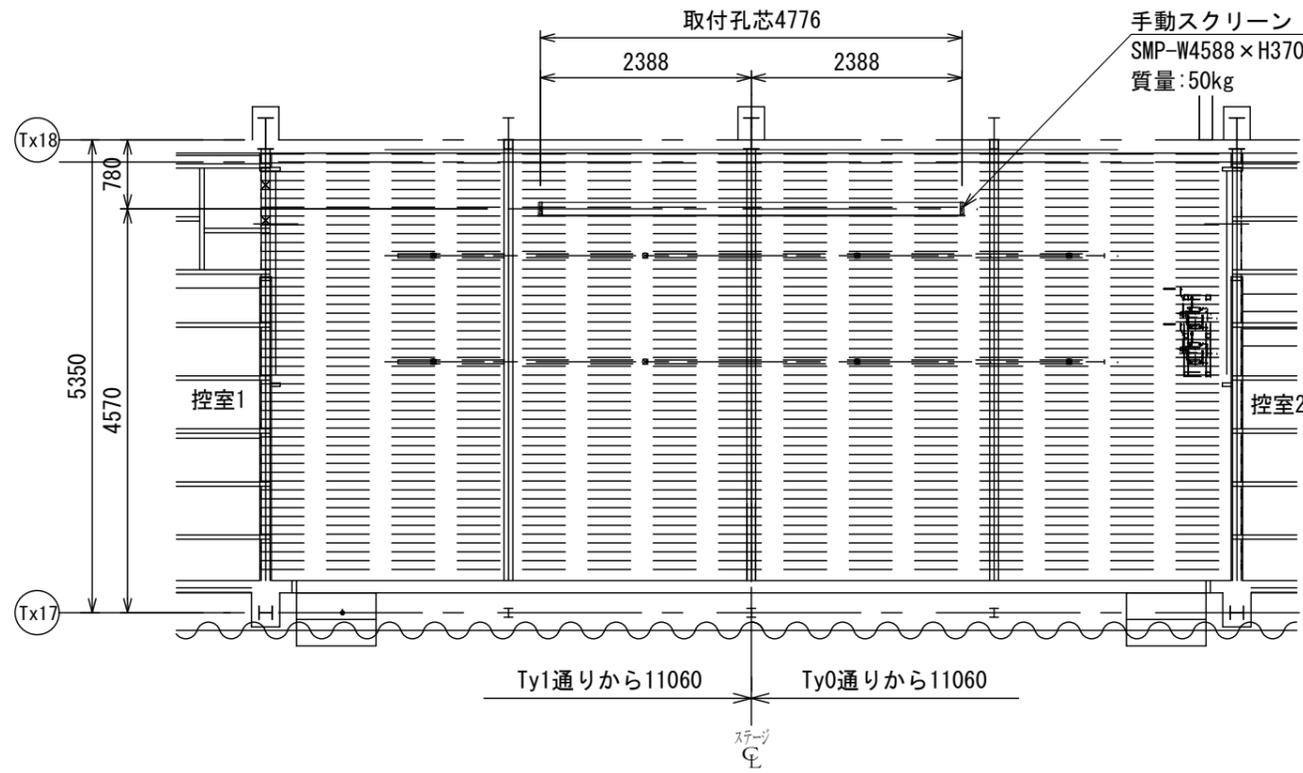
吊物装置仕様一覧表

No.	名称	数量	バトン長さ	方式	動力	仕様	ワイヤーロープ径	吊点数	バトン等重量	積載量	合計重量	備考
1	バトン1	1	8,000	手動昇降	100kg用リミット付ウインチ	STK-φ42.7	元φ6・枝φ4	4	25kg	75kg	100kg	-
2	バトン2	1	8,000	手動昇降	100kg用リミット付ウインチ	STK-φ42.7	元φ6・枝φ4	4	25kg	75kg	100kg	-

工事区分

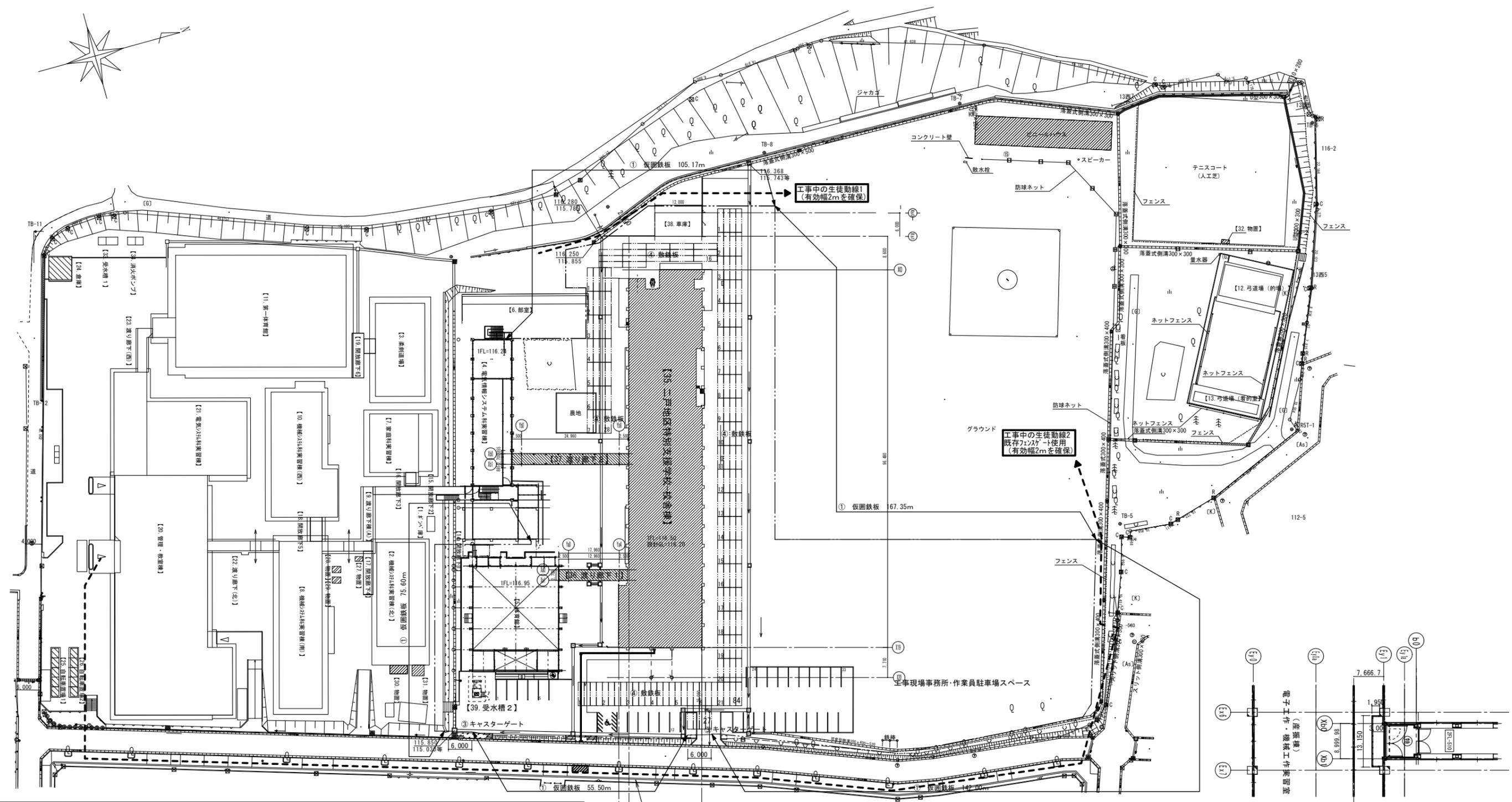
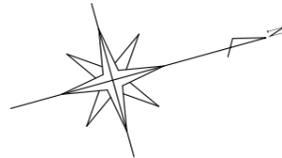
工事箇所	建築工事	吊物工事
ブドウ棚工事	○	-
タラップ	○	-
吊バトン昇降装置製作取付	-	○

工事名	岩手県立二戸地区特別支援学校 (仮称) 体育館改修 (建築) 工事	製図	担当	検印	録記	作成日	2024/05	図面名	改修 ステージ吊物装置 配置図・仕様表	縮尺	A1: 図示 A3: 図示/2	区分	建築意匠	図面番号	A-35
						設計番号	2023-001								



工事名	岩手県立二戸地区特別支援学校 (仮称) 体育館改修 (建築) 工事	製図	担当	検印	登録	作成日	2024/05	図面名	改修 手動スクリーン プロット図	縮尺	区分	図面番号
						設計番号	2023-001	A1: 1/5.40 A3: 1/10.80		建築意匠		





【凡例：仮設計画】

記号	工種	数量	揚重機械在置日数 (移動式クレーン)
①	仮囲いシート H=2.0m	12ヶ月リース 545.62m	規格 数量
②	A型バリケード 600×1200	00ヶ月リース 00.00m	25 t 68日
③	キャストゲート W=6.0m	12ヶ月リース 2ヶ所	16 t 16日
④	敷鉄板 1524×6096 t=22	10ヶ月リース 155枚	アスベスト含有分析調査費 (既存校舎接続部分)
⑤	2階渡り廊下 仮設間仕切り B種 軽量下地+合板t=15(片面)	12.80㎡	規格 数量
⑥	交通誘導員	14ヵ月×20日=280人程度	定性分析・調査箇所：3か所

【施工条件】  
 ※地域住民の安全を確保する為、必要に応じてゲート前に交通誘導員を配置すること。  
 ※発生土搬出、コンクリート打設、構造材搬入等の大型車両の入出庫期間は、ゲート前に交通誘導員を配置すること。

KBM±0=R5T-2 GH=115.750

【特記事項】  
 本図面は、同時期に施工される「岩手県立二戸地区特別支援学校（仮称）校舎新築ほか（建築）工事（以下「本工事」という。）」の仮設計画図（参考図）である。  
 本工事における共通仮設（積上げ分）については、別添の「実施工事 設計書」に示す項目を想定しており、仮囲い等の他の項目については、本工事での施工を予定している。  
 本工事及び本工事で見込まれていない共通仮設（積上げ分）で、本工事が必要な項目については、着工後の協議による。  
 なお、現場事務所等については、敷地内での設置を想定している。

\*2階渡り廊下 S:1/150  
 仮設間仕切り：B種 軽量下地+合板t=15(片面)  
 CH=2600 12.80㎡

工事名	岩手県立二戸地区特別支援学校（仮称） 体育館改修（建築）工事	製図	担当	検印	登記	作成日	2024/04	図面名	【参考】仮設計画図	縮尺	A1:1/500 1/150 A3:1/1000 1/300	区分	建築意匠	図面番号	A-38
						設計番号	2023-001								

### 改修工事 構造特記仕様書

1. 共通仕様  
 図面、特記仕様書及び現場説明事項に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房庁官庁建築部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。  
 ただし、改修標準仕様書に規定されている項目以外は国土交通省大臣官房庁官庁建築部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下「標準仕様書」という。）による。

2. 特記仕様  
 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。  
 (2) 特記事項は、◎印の付いたものを適用する。  
 ◎印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。  
 ◎印と※印の付いた場合は、共に適用する。  
 (3) 特記仕様書に記載の〔 〕内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。  
 ( ) 内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。  
 (4) □印は、「国等による環境物品等の調達に関する法律」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成28年2月変更閣議決定）」に定める判断の基準を満たす物品を示す。

章 項 目	特 記 事 項																									
8-1 1 通 用	<p>適用基準            ○改修標準仕様書 第8章 耐震改修工事            ◎耐震改修標準仕様書において第8章 耐震改修工事以外の改修工事で第8章を引用している部分</p> <p>工事内容            ・ 現場打ち鉄筋コンクリートの増設工事            ○鉄骨プレースの設置工事            ・ 柱補強工事（溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法）            ・ 柱補強工事（鋼板巻き工法又は帯板巻き工法）            ・ 連続繊維補強工事            ・ 耐震スリット新設工事            ・ 免震改修工事            ・ 制震改修工事            ・ 基礎工事            ○スチージ改修工事            ○体育器具受け改修工事</p>	[8.1.1]																								
2 施工計画調査	<p>施工計画書の作成に先立つ調査 [1.2.2][1.2.4][1.3.1][1.4.4][1.5.1~1.5.3]            ○ 施工計画書の作成に先立ち、調査を下記により行う。            調査の結果は、[1.2.4]に準じて記録し、当該箇所に関連する施工計画の提出に先立ち、監督員に報告する。            調査の結果が、既存構造物の品質、施工数量、施工及び検査等に関する事項があると判断される場合は、その旨を監督員に報告する。            記録は、監督員より指示のある場合を除き、[1.2.2]の施工計画書の提出時に、資料として一式添付する。            その他の事項は、全て監督員の承諾する内容とする。</p> <p>・ 既存構造物の品質確認等のための調査を下記により行う。            調査は、[1.5.2]及び[1.4.4]に準じて行う。            実施に先立ち、調査試験計画書を[1.4.4]に準じて作成し、監督員に提出し承諾を受ける。ただし、施工数量は[1.5.2]に準じて作成する。            調査は、監督員の承諾を受けた調査試験計画書に従って実施し、調査報告書を作成する。            調査報告書には、以下を資料として添付する。            ※ 調査記録写真 ※ 試験成績書（本票又は写し） ・ 現地調査野帳            調査報告書は、当該箇所に関連する工事関係図書の作成に先立ち、監督員に提出する。            調査のための破壊を行った部分の補修は、調査後に原状復帰することとする。ただし、当該部分が本工事において改修の範囲に含まれており、かつ改修工事完了まで支障がないとして監督員の承諾を受けた場合においては、改修工事と同時に補修を行うものとする。</p>																									
8-2 撤 去 工 事	<p>1 既存仕上げ等の撤去 [8.21.2][8.22.2][8.23.2][8.24.2][8.25.2][8.26.5][8.27.2]            ◎ 撤去の範囲            ※ 図示</p> <p>2 既存部分の撤去等 [8.21.2][8.22.2][8.23.2][8.24.2][8.25.2][8.26.5][8.27.2]            ◎ 撤去の範囲            ※ 図示</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>鉄 筋 の 切 断</th> <th>範 囲</th> <th>適 用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 既存鉄筋は切断せず残す</td> <td>※ 図示 ・ 全ての撤去部分 ・ 適用なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート撤去範囲の周囲より一定長を残し切断</td> <td>※ 図示 ・ 全ての撤去部分 ・ 適用なし</td> <td>残す長さ ※ 継手長さ</td> </tr> <tr> <td>○ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切除する</td> <td>※ 切断せず残す範囲を除く、撤去する既存鉄筋コンクリート部分</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>はつりだした鉄筋の処置            ※ 鉄筋に損傷を与えないよう適切な養生を施す            撤去する既存コンクリート内にあった鉄骨の処理            ※ コンクリート等を除去し鉄面を現す</p> <p>既存コンクリートの表層目直し [8.21.3][8.22.3][8.23.3][8.26.6]            適用範囲 ※ 既存コンクリートとの打継ぎ面全面            ※ 既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充填部の接合面            ・ 図示</p> <p>目直し範囲 ※ 平均深さ2~5mm最大深さ7mm程度の凹凸を50~100mm間隔程度で施す            ・ 図示</p> <p>目直し程度            ・ 既存柱、梁面 打継ぎ面の30%程度            ・ 既存壁 打継ぎ面の30%程度</p> <p>既存杭の撤去等            ・ 撤去範囲及び工法            ・ 図示による( )</p> <p>・ 鉄筋部の処理            ・ 図示による( )</p> <p>・ 既存杭の補強            ・ 図示による( )</p> <p>・ 既存杭の健全性を確認する試験            ・ 図示による( )</p>	鉄 筋 の 切 断	範 囲	適 用	・ 既存鉄筋は切断せず残す	※ 図示 ・ 全ての撤去部分 ・ 適用なし		・ コンクリート撤去範囲の周囲より一定長を残し切断	※ 図示 ・ 全ての撤去部分 ・ 適用なし	残す長さ ※ 継手長さ	○ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切除する	※ 切断せず残す範囲を除く、撤去する既存鉄筋コンクリート部分		[8.28.3]												
鉄 筋 の 切 断	範 囲	適 用																								
・ 既存鉄筋は切断せず残す	※ 図示 ・ 全ての撤去部分 ・ 適用なし																									
・ コンクリート撤去範囲の周囲より一定長を残し切断	※ 図示 ・ 全ての撤去部分 ・ 適用なし	残す長さ ※ 継手長さ																								
○ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切除する	※ 切断せず残す範囲を除く、撤去する既存鉄筋コンクリート部分																									
8-3 鉄 筋 工 事	<p>鉄筋の種類 [8.2.1][表8.2.1]  <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 類 の 記 号</th> <th>呼 び 名 (mm)</th> <th>適 用 箇 所</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ S0295A</td> <td>※ D16以下</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ S0345</td> <td>※ D19以上</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>           鉄筋コンクリート用棒筋（異形鉄筋）</p> <p>溶接金網 [8.2.2]  <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>種 類 の 記 号</th> <th>網 目 の 形 状、寸 法、鉄 筋 の 径 (mm)</th> <th>適 用 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 溶接金網</td> <td>WFP</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </p>	種 類 の 記 号	呼 び 名 (mm)	適 用 箇 所	備 考	○ S0295A	※ D16以下	図示		○ S0345	※ D19以上	図示		種 類	種 類 の 記 号	網 目 の 形 状、寸 法、鉄 筋 の 径 (mm)	適 用 箇 所	・ 溶接金網	WFP			・ 鉄筋格子				
種 類 の 記 号	呼 び 名 (mm)	適 用 箇 所	備 考																							
○ S0295A	※ D16以下	図示																								
○ S0345	※ D19以上	図示																								
種 類	種 類 の 記 号	網 目 の 形 状、寸 法、鉄 筋 の 径 (mm)	適 用 箇 所																							
・ 溶接金網	WFP																									
・ 鉄筋格子																										

3 施工数量調査  
 既存構造物に関する施工数量調査 [1.2.2][1.2.4][1.3.1][1.4.4][1.5.2][1.5.3]  
 ※ 既存構造物の耐震改修に関する施工数量調査を下記により行う。  
 調査は、[1.5.2]に準じて行う。  
 実施に先立ち、調査計画書を[1.2.2]に準じて作成し、監督員に提出し承諾を受ける。  
 調査は、監督員の承諾を受けた計画書に従って実施し、調査報告書を作成し、施工数量をまとめる。  
 調査報告書には、以下を資料として添付する。  
 ※ 調査記録写真 ・ 試験成績書（本票又は写し） ・ 現地調査野帳  
 調査報告書は、当該箇所に関連する工事関係図書の作成に先立ち、監督員に提出する。  
 調査の結果が、材料の品質、施工及び検査等の変更に関する事項があると判断される場合は、その内容を監督員に報告する。  
 調査に当たっては、[1.2.4]に準じて記録を行う。  
 調査の記録は、監督員より指示のある場合を除き、[1.2.2]の施工計画書の承諾に先立ち、資料として一式添付する。  
 調査のための破壊を行った部分の補修は、調査後に原状復帰することとする。ただし、当該部分の本工事において改修の範囲に含まれており、かつ改修工事完了まで支障がないとして監督員の承諾を受けた場合においては、改修工事と同時に補修を行うものとする。  
 その他の事項は、全て監督員の承諾する内容とする。

3 鉄筋の継手  
 継手方法 [8.3.4][8.4.2][8.4.3]  

適用箇所	継手方法及び適用径の範囲
・ 柱主筋	※ ガス圧接 (D19以上)
・ 梁主筋	※ ガス圧接 (D19以上)
・ 耐力壁	※ 重ね継手
・ 基礎スラブ、耐圧スラブ、土圧壁など	・ ガス圧接 ( ) ・ 重ね継手 ( )
○ その他 (スラブ)	○ 重ね継手

4. 圧接完了後の試験  
 外観試験 ※ 行う (全数) ・ 行わない [8.3.8]  
 採取試験 ※ 超音波探傷試験  
 ・ 引張試験  
 試験ロットは、1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えるときは200箇所ごととする。

5. 割製補強筋  
 割製補強筋の適用 [8.21.6][8.22.7]  

種類	材 質	材 質	径	本数/1等	適用箇所
・ スパイラル筋	鉄筋27φ →用棒筋	SR235	※ 6φ ・ 9φ	2N <sup>1</sup> /4φの径(mm) ( ) 2N <sup>1</sup> /4φの径(mm) ( )	※ 図示
・ はしご筋	鉄筋27φ →用棒筋 (異形鉄筋)	S0295A	・ D10 ・	壁面内方向 ( ) 壁面外方向 ( )	

◎鉄筋の加工組立は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）の参考資料「各部配筋 参考図」による。これに記載なき部分及び変更するは図示とする。

8-4 1 コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度 [8.1.3][8.1.4]  

設計基準強度 Fc (N/mm <sup>2</sup> )	気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	スラブ厚 (mm)	適用箇所
○ 24	※ 2.3程度	○ 15 - 18	建物躯体
・ 21	※ 2.3程度	- 15 - 18	建物躯体

軽量コンクリート ・ 適用なし ・ 適用する (・1種 ・2種) [8.9.1]  
 (気乾単位容積質量: t/m<sup>3</sup>)

2 コンクリートの種類 種類 [8.1.3][表8.1.1]  
 ※ 1種 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)  
 ・ Ⅱ種 (JIS A 5308に適合した27φ)  
 打抜き仕上げの種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 [8.1.4][表8.1.3]

3 セメント  

種類	セメントの種類	施工場所
◎ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種	建物躯体(下記以外)	
・ 高炉セメントB種 □	基礎、基礎梁	

普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R5210に示された規定の他、水和熱が7日目で35J/g以下かつ28日目で402J/g以下のものとする。  
 無筋コンクリートのセメントの種類 ※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種

4 骨材  
 使用骨材のアルカリシリカ反応による区分 [8.2.5]  
 ※ A ・ B

5 混和剤  
 混和剤の種類 ※ 標準仕様書6.3.1(d) (i) による

6 コンクリートの打込み工法等  

部位毎のコンクリートの打設工法の指定	打設工法	適用箇所
補強工法	打設工法	適用箇所
現場打ち鉄筋	・ 流込み工法	・ 全ての増設壁
27φ以上	・ 圧入工法	・ 図示
増設工事	・ 使用しない	・
	・ 工法指定なし	・

7 型枠  
 せき板の材料及び厚さ ※ 合板 (※12mm) ( ) □ [8.2.7]  
 (ただし、グリーン購入法基本方針における「合板型枠」の備考3の表示のある合板型枠を用いる場合に限り)

合板せき板を用いるコンクリートの打抜き仕上げ [8.1.4][8.2.7]  

種 別	適 用 箇 所
・ A種	
・ B種	
・ C種	

打増し厚さ 外部に面するコンクリート打ち出し仕上げ部 [8.7.8]  
 ・ 20mm ・ 図示による  
 外装タイル後張り面の打増し厚さ  
 ・ 20mm ・ 図示による

8.8 シアコネクタをセパレータとしての使用 [8.7.8]  
 断熱材兼用型枠 厚さ 20~40mm  
 熱抵抗係数 0.73m<sup>2</sup>/K以上を有するものとする。建築技術評価「断熱材兼用型枠工法の開発」において評価を取得したもの、又は同等以上とする。

8.9 目地寸法 ※ 標準仕様書9.7.3による  
 間隔、位置、形状 ※ 図示による ( )  
 ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し厚さ部で処理する。

8-5 1 あと施工力か材料 [8.2.4]  
 あと施工力か材料 [8.2.4]  
 ・ 金属系アンカー (耐震補強用)  
 ・ セット方式 ※ 本体打込み式改良型  
 ・ 接合部の種類、径、長さ ・ 図示による ( )  
 ・ アンカー本体の径及び埋込長さ ・ 図示による

2 穿孔前の埋込配管等の検査 [8.12.2]  
 探査方法 ※ 鉄筋探知機 (金属探知器) により探査し、鉄筋、配管等の位置に提出しを行う  
 ・ はつり出しによる

3 施工確認試験 [8.12.5]  
 試験方法 ※ 採取試験  
 ・ 確認強度 ※ 構造図 (S-O) による

4 あと施工力かの穿孔工法  
 耐震改修部位に使用するD13以上のあと施工アンカーは、ケージング又はダイヤモンドビット等を用いた低騒音工法を採用する。

8-6 1 鉄骨製作工場 [8.1.5]  
 鉄骨製作工場の加工能力 [8.1.5]  
 ※ 建築基準法第77条の5に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた (株) 日本鉄骨評価センター及び (株) 全国鉄骨評価機構 (旧 (社) 全国建築工業協会) の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「 ( ) グレード」 ) として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場  
 ・ 監督職員の承諾する工場

2 施工管理技術者 [8.1.5]  
 ◎ 適用する ・ 適用しない

3 鋼材 [8.2.8][表8.2.7]  

種類の記号	適用箇所	規格等
SS400	柱脚つなぎ梁	※ JIS規格による
SS400	船首プレース	※ JIS規格による
SS400	プレート類	※ JIS規格による
SS400	軽量形鋼	※ JIS規格による

4 高力ボルト [8.2.9]  
 ボルトの区分 [8.2.9]  
 ※ トルネア形高力ボルト 2種 (S10T)  
 ・ JIS形高力ボルト 2種 (F10T)  
 高力ボルトの種類 ※ 図示による ( )  
 すべり係数試験 ※ 行わない ・ 行う  
 試験方法等 ・ 図示による ( )

5 溶融塗油めっき高力ボルト [8.2.9]  
 セットの種類 [8.2.9]  
 ※ 1種 (F8相当)  
 溶融塗油めっき高力ボルトの径  
 ・ 図示による ( )  
 溶融塗油めっき高力ボルトのめつり前の孔径  
 ※ 大臣認定を受けた内容による

6 普通ボルト [7.12.4]  
 摩滅面の処理 [7.12.4]  
 ※ プラス処理 (表面粗度50μmR以上)  
 ・ りん酸塩処理  
 すべり耐力等の確認方法  
 ・ 図示による ( )

7 アンカーボルト [7.2.3]  
 ボルト及びナットの材料等 [7.2.3]  
 ※ 標準仕様書 表7.2.3iによる  
 座金 ※ 標準仕様書 表7.2.3(d)による

8 溶接材料 [7.10.3][7.10.3]  
 通用  
 ◎ 構造用アンカーボルト  
 セットの種類 (JIS B 1220)  
 ○ A8400  
 ・ A8490  
 ・  
 形状、寸法  
 ◎ 図示による ( )  
 ・ 建方用アンカーボルト  
 種類 ・ S5400 ・

9 スタッド [7.10.3][7.10.3]  
 アンカーボルト及びナットのねじの種類、ねじの公差クラス及び仕上げの程度  
 ※ 標準仕様書 表7.2.3による  
 形状、寸法  
 ・ 図示による ( )  
 保持及び埋込み工法 [7.10.3][7.10.3]  
 ◎ 構造用 ・ 図示による ◎ 構造用 7.10.1 B種  
 ・ 建方用 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・

◎ 構造用標準仕様書8.2.10(a) (b)による  
 ・ 改修標準仕様書8.2.10(a) (b)以外の溶接材料  
 材料および使用箇所 ・ 図示による ( )

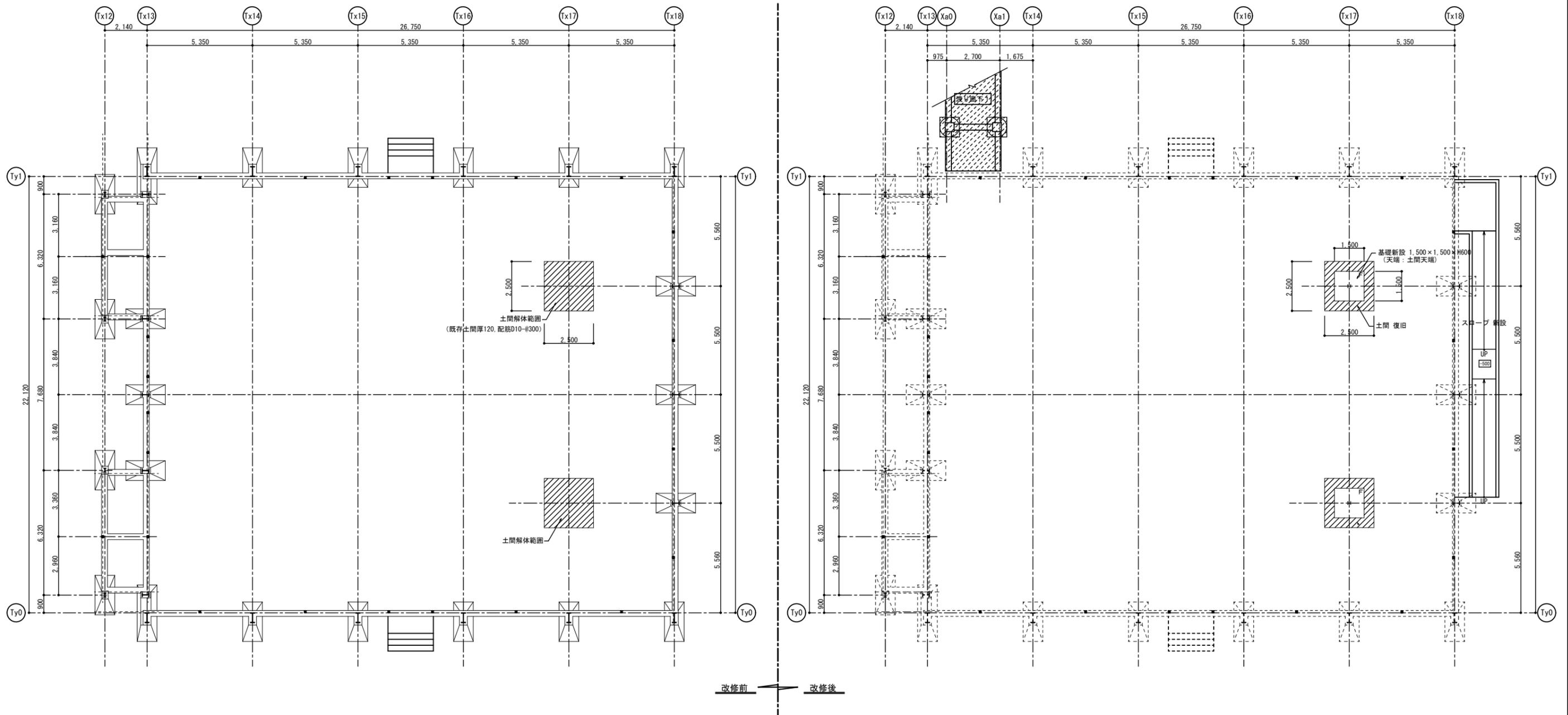
※ 埋込みスタッド (JIS B 1198)  

径 (呼び名)	長さ (呼び長さ) mm	使用箇所
1.6φ	・ 80 ・ 100 ・ 120	
1.9φ	・ 80 ・ 100 ・ 130 ・ 150	
2.2φ	・ 80 ・ 100 ・ 130 ・ 150	

工事名	岩手県立二戸地区特別支援学校 (仮称) 体育館改修 (建築) 工事	製図	担当	検印	特記	年月日	2024.05	図面内容	縮尺	区分	図面番号
						設計番号	2023-001	改修工事 構造特記仕様書 (1)	A1 : NON A3 : NON	建築構造	S - 01

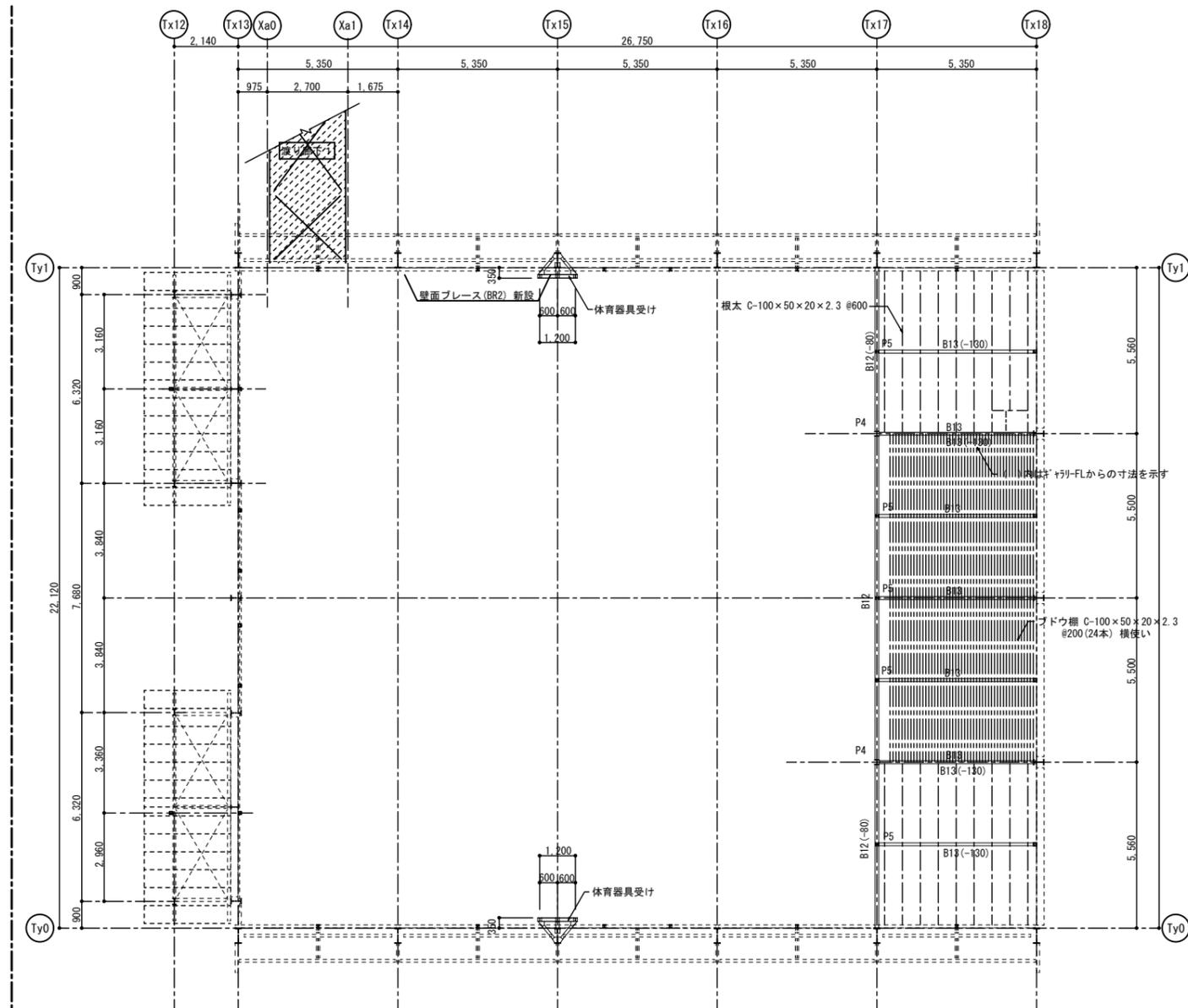
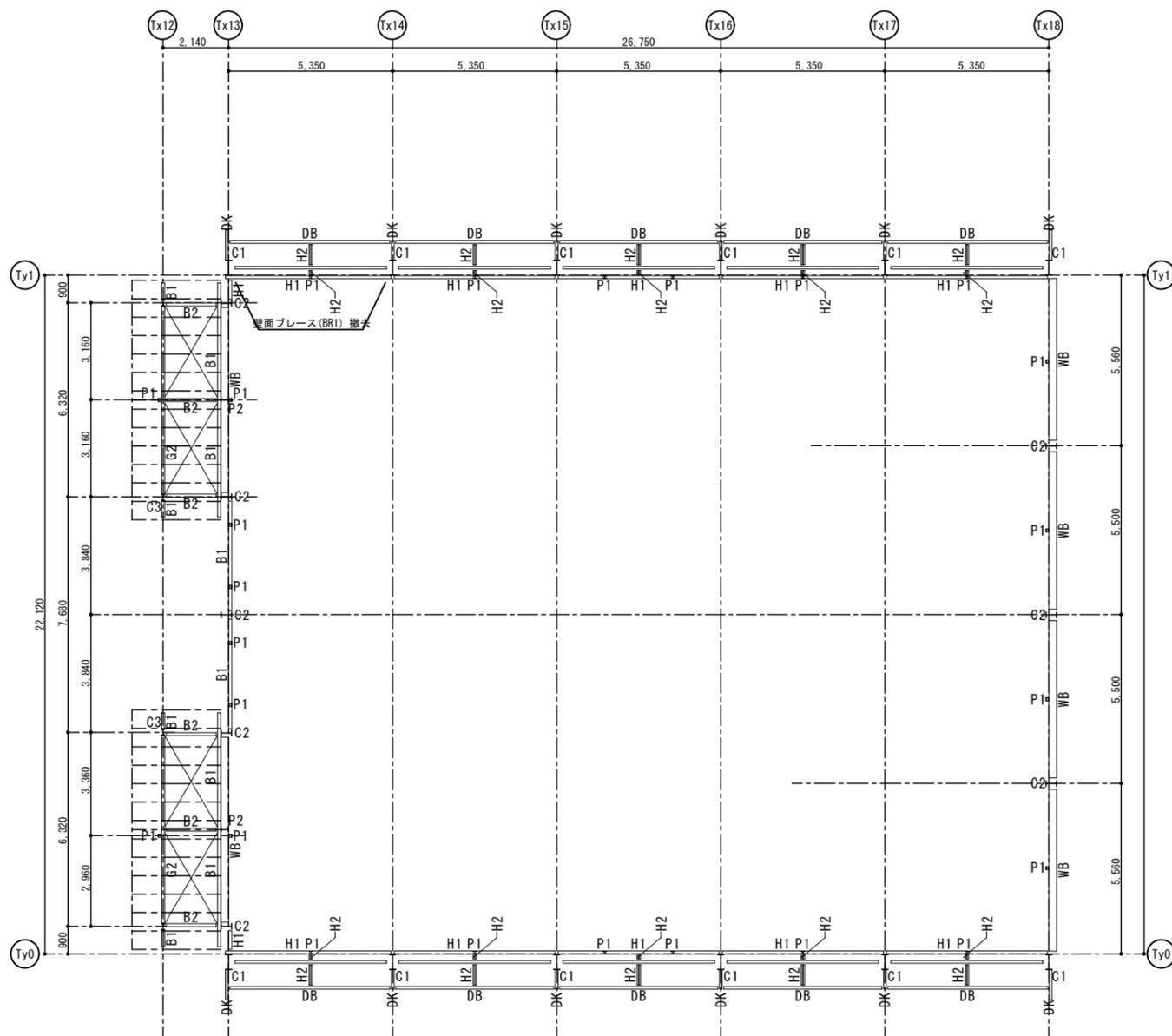
10 修繕工事	<p>工作員 監督員による原寸検査 ○ 行わない ・ 行う</p> <p>既存建築物と取合う箇所がある場合は現場実測の上、工作員を作成する。</p> <p>縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ボルト径、ゲージ等 ※ 図示による</p> <p>製作精度 ※ 改修標準仕様書 表8.13.3及びH12建築第1464号第二号イによる H12建築第1464号第二号イ(1)(2)のただし書きによる補強は、「突合せ継手の食い違い仕口のいずれかの検査補強マニュアル」による</p> <p>仮組を行う範囲 ・ 図示による ( )</p>	[8.13.2]	8-7 グラウト 工事	<p>1. モルタル及びグラウト材 [8.2.6][8.2.11]</p> <p>・ 柱底均しモルタル ※ 無収縮モルタル ・ グラウト材 [8.2.11] ※ 無収縮グラウト材 プレミックス及び現場調合形</p> <table border="1"> <tr> <th>混和材料</th> <td>セメント系 (硬化材及び硬化物材料等) によって調整する性質を利用するものとする。</td> </tr> <tr> <th>セメント</th> <td>JIS R 5210 (ポルトランドセメント) に適合した普通又は早強ポルトランドセメントとする。</td> </tr> <tr> <th>砂</th> <td>土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。</td> </tr> </table> <p>品質及び試験方法 (現場調合形においては標準使用量・配合値)</p> <table border="1"> <tr> <th>コンシステンシー</th> <td>Jフロートによる落下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 : 8±2秒</td> </tr> <tr> <th>ブリージング</th> <td>練混ぜ後2時間後のブリージング率 : 2.0%以下</td> </tr> <tr> <th>凝結時間</th> <td>凝結開始時間 : 1時間以内 終結時間 : 10時間以内</td> </tr> <tr> <th>無収縮性</th> <td>材齢 7日 収縮しない</td> </tr> <tr> <th>圧縮強度</th> <td>材齢 3日 2.0N/mm<sup>2</sup>以上 材齢 28日 4.0N/mm<sup>2</sup>以上</td> </tr> <tr> <th>付着強度</th> <td>材齢 28日 2.5N/mm<sup>2</sup>以上</td> </tr> <tr> <th>塩化物量</th> <td>0.30kg/m<sup>3</sup>以下</td> </tr> </table> <p>試験方法 1) 日本道路公団規格 (JIS) 312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。なお、プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。</p> <p>増設の現場打ち鉄筋コンクリート型と既存構造体との隙間の処理方法 [8.21.9]</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>処理方法</th> </tr> <tr> <td>・ 増設部の上</td> <td>※ グラウト材を注入</td> </tr> </table>	混和材料	セメント系 (硬化材及び硬化物材料等) によって調整する性質を利用するものとする。	セメント	JIS R 5210 (ポルトランドセメント) に適合した普通又は早強ポルトランドセメントとする。	砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。	コンシステンシー	Jフロートによる落下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 : 8±2秒	ブリージング	練混ぜ後2時間後のブリージング率 : 2.0%以下	凝結時間	凝結開始時間 : 1時間以内 終結時間 : 10時間以内	無収縮性	材齢 7日 収縮しない	圧縮強度	材齢 3日 2.0N/mm <sup>2</sup> 以上 材齢 28日 4.0N/mm <sup>2</sup> 以上	付着強度	材齢 28日 2.5N/mm <sup>2</sup> 以上	塩化物量	0.30kg/m <sup>3</sup> 以下	部位	処理方法	・ 増設部の上	※ グラウト材を注入	8-10 免震 改修 制振 改修 工事	<p>1. 既存構造体の荷重保持 [8.26.2] ※ 改修標準仕様書8.26.2による。</p> <p>2. 既存部分の撤去等 [8.26.5][8.27.2] ・ 鉄筋コンクリート造 改修標準仕様8.21.2による。 ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造 改修標準仕様8.21.2による。 ・ 鉄骨造 改修標準仕様8.21.2による。 既存鉄骨の撤去範囲 ※ 図示による ( ) 既存鉄骨部の撤去方法 ※ 図示による ( ) 既存鉄骨の処置 ※ 図示による ( )</p> <p>3. 既存部分の処理 [8.26.6][8.27.3] ・ 鉄筋コンクリート造 改修標準仕様8.21.3による。 ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造 改修標準仕様8.21.3による。 ・ 鉄骨造</p> <p>既存施工面にほこり、油等がないように十分清掃する。 既存鉄骨に免震等の不良部分がある場合は、監督員と協議する。</p> <p>4. 材 料 [8.26.7][8.27.4] 免震材料及び減震材の材質等 ※ 図示による</p> <p>5. 性能確認試験 [8.26.7][8.27.4] 性能確認試験の項目及び数量 ※ 図示による</p> <p>6. 免震材料又は減震材の設置 [8.26.10][8.27.6] 防錆処置 ※ 免震材料又は減震材製造所の仕様による。 免震材料又は減震材の設置位置の寸法許容差 ※ 図示による 免震材の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状</th> <th>寸法</th> <th>数量</th> <th>設置条件</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>減震材の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状</th> <th>寸法</th> <th>数量</th> <th>設置条件</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>7. 仕上げ [8.26.13][8.27.8] 免震材料又は減震材設置後の仕上げ ※ 図示による</p> <p>8. 検査 [8.26.16][8.27.9] 検査の項目及び数量 ※ 図示による</p>	種類	形状	寸法	数量	設置条件						種類	形状	寸法	数量	設置条件					
	混和材料	セメント系 (硬化材及び硬化物材料等) によって調整する性質を利用するものとする。																																																
セメント	JIS R 5210 (ポルトランドセメント) に適合した普通又は早強ポルトランドセメントとする。																																																	
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。																																																	
コンシステンシー	Jフロートによる落下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 : 8±2秒																																																	
ブリージング	練混ぜ後2時間後のブリージング率 : 2.0%以下																																																	
凝結時間	凝結開始時間 : 1時間以内 終結時間 : 10時間以内																																																	
無収縮性	材齢 7日 収縮しない																																																	
圧縮強度	材齢 3日 2.0N/mm <sup>2</sup> 以上 材齢 28日 4.0N/mm <sup>2</sup> 以上																																																	
付着強度	材齢 28日 2.5N/mm <sup>2</sup> 以上																																																	
塩化物量	0.30kg/m <sup>3</sup> 以下																																																	
部位	処理方法																																																	
・ 増設部の上	※ グラウト材を注入																																																	
種類	形状	寸法	数量	設置条件																																														
種類	形状	寸法	数量	設置条件																																														
11 溶接	<p>溶接技能者の技量付加試験 ○ 行わない ・ 行う (試験の要否: 図示による ( ))</p> <p>開先の形状 ※ 図示による</p> <p>スカップの形状 ※ 図示による</p> <p>鋼製エンドタブの切除する部分 ・ 図示による ( )</p> <p>完全溶込み溶接部の余盛り高さ [8.15.7] ※ JASS6 付則6 「鉄骨精度検査基準」付表3「溶接」による。</p> <p>板厚が異なる場合の突合せ溶接部の形状 ・ 低応力高サイクル疲労を受けやすい部位 ・ 図示による ( )</p> <p>入熱、バス間温度の溶接条件 適用箇所 ※ 梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部 ・ 図示</p> <p>溶接部の試験 [8.15.11] ※ 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・ 工場溶接の場合 ※ 全数 ・ 工事現場溶接の場合 ※ 全数</p> <p>突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査 独立行政法人建築研究所監修 「突合せ継手の食い違い仕口の検査・補強マニュアル」による。 ・ 抜き取り検査① ※ 抜き取り検査②</p>	[8.15.3]	[8.15.4]	[8.15.7]	[8.15.7]	[8.15.7]	[8.15.11]	8-8 連続 繊維 補強 工事	<p>1. 連続繊維シート [8.2.12]</p> <p>連続繊維の材料 ・ 炭素繊維 ・ アラミド繊維 ・ ガラス繊維</p> <p>連続繊維の材質 引張強度 (含浸硬化後) ・ ( ) N/mm<sup>2</sup> ヤング係数 (含浸硬化後) ・ ( ) N/mm<sup>2</sup></p> <p>増設の現場打ち鉄筋コンクリート型と既存構造体との隙間の処理方法 [8.21.9]</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>処理方法</th> </tr> <tr> <td>・ 増設部の上</td> <td>※ グラウト材を注入</td> </tr> </table>	部位	処理方法	・ 増設部の上	※ グラウト材を注入	8-11 基礎 工事	<p>1. 埋戻し及び盛土 [8.28.3] 埋戻し及び盛土の種類 ・ A種 適用箇所 ( ) ・ B種 適用箇所 ( ) ・ C種 適用箇所 ( ) 土質 ( ) 受渡場所 ( ) ・ D種 (細粒分 (75µm以下) の含有率 (重量百分率) の上限を50%未満とする) 受渡場所 ( )</p> <p>2. 山留め [8.28.3] 山留の有無 ・ 有り ・ 無し 山留の存置 ・ 全て撤去 ・ 存置 存置範囲 (※ 図示による ( ))</p> <p>3. 杭工事 [8.2.14][8.28.4] 杭の種類・工法・寸法・継手・杭頭処理等 ・ 図示による 試験杭の位置・本数・寸法・施工方法等 ・ 図示による</p> <p>載荷試験 [8.28.4] 杭の載荷試験 ・ 行う (位置・本数・試験方法等は図示による) ・ 行わない 地盤の載荷試験 ・ 行う (位置・載荷荷重等は図示による) ・ 行わない</p> <p>4. 砂利地盤 [8.2.14][8.28.4] 材料 ※ 再生クラッシュラン G ・ 切込み砂利又は切込み砕石</p> <p>厚さ及び適用範囲</p> <table border="1"> <tr> <th>厚さ (mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※60</td> <td>・ 基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土間コンクリート ・ 土に接するスラブ</td> </tr> <tr> <td>○200</td> <td>○ 基礎スラブ下 ・ 基礎梁下</td> </tr> </table> <p>厚さ及び適用範囲 [8.28.4]</p> <table border="1"> <tr> <th>厚さ (mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※50</td> <td>○ 基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土に接するスラブ</td> </tr> </table> <p>5. 捨てコンクリート地盤 [8.28.4] 材料 ・ ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 施工範囲 ・ 図示による ( )</p> <p>6. 床下防湿層</p>	厚さ (mm)	適用箇所	※60	・ 基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土間コンクリート ・ 土に接するスラブ	○200	○ 基礎スラブ下 ・ 基礎梁下	厚さ (mm)	適用箇所	※50	○ 基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土に接するスラブ																									
部位	処理方法																																																	
・ 増設部の上	※ グラウト材を注入																																																	
厚さ (mm)	適用箇所																																																	
※60	・ 基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土間コンクリート ・ 土に接するスラブ																																																	
○200	○ 基礎スラブ下 ・ 基礎梁下																																																	
厚さ (mm)	適用箇所																																																	
※50	○ 基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土に接するスラブ																																																	
12 断止め塗装	<p>塗料の種類 ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面 (鉄骨に溶接されたものに限り) ※ 改修標準仕様書 表7.3.1 A種 ・ 耐火被覆材の接する面への塗装 適用箇所 ・ 図示による ( ) 塗料の種類 ・ 改修標準仕様書 表7.3.1 (A) 種 ・ 改修標準仕様書 表7.3.2 ( ) 種</p>	[8.18.2~7]	8-9 耐震 スリ ット 新設 工事	<p>1. 耐震スリット [8.25.2] 方式 ・ 完全 ・ 部分 スリットの幅及び深さ ・ 図示による 耐火材 ・ 図示による 遮音材 ・ 図示による</p> <p>2. スリットの種類 [8.25.2] 耐震スリット 完全スリットの既存鉄筋の処理 一般型 ・ 既存鉄筋はつりだし ・ 切断してよい 一面せん断型 ・ 切断してよい 部分スリットの既存鉄筋の処理 片側スリット ・ 存置する ・ 既存鉄筋はつりだし ・ 切断してよい 両側スリット ・ 存置する ・ 切断してよい</p> <p>3. 壁切断前の埋込み配管等の探査 [8.25.2] 探査方法 ※ 鉄筋探知機 (金属探知器) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・ はつり出しによる</p>																																														
13 耐火被覆	<p>種類及び性能 [8.18.2~7]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>性能 (耐火時間)</th> <th>適用箇所 (部位・部分)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">耐火材吹付け</td> <td>・ 乾式吹付け</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 半乾式吹付け</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 湿式吹付け</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">耐火板張り</td> <td>・ 繊維混入型不燃板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 高断熱板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火材巻付け</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 張り紙外塗り</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>材料及び工法は、建築基準法に基づき定められたもの又は認定を受けたものとする。</p>	種類	材料・工法	性能 (耐火時間)	適用箇所 (部位・部分)	耐火材吹付け	・ 乾式吹付け			・ 半乾式吹付け			・ 湿式吹付け			耐火板張り	・ 繊維混入型不燃板			・ 高断熱板			耐火材巻付け				・ 張り紙外塗り				[8.18.2~7]	8-9 耐震 スリ ット 新設 工事	<p>1. 耐震スリット [8.25.2] 方式 ・ 完全 ・ 部分 スリットの幅及び深さ ・ 図示による 耐火材 ・ 図示による 遮音材 ・ 図示による</p> <p>2. スリットの種類 [8.25.2] 耐震スリット 完全スリットの既存鉄筋の処理 一般型 ・ 既存鉄筋はつりだし ・ 切断してよい 一面せん断型 ・ 切断してよい 部分スリットの既存鉄筋の処理 片側スリット ・ 存置する ・ 既存鉄筋はつりだし ・ 切断してよい 両側スリット ・ 存置する ・ 切断してよい</p> <p>3. 壁切断前の埋込み配管等の探査 [8.25.2] 探査方法 ※ 鉄筋探知機 (金属探知器) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・ はつり出しによる</p>																	
種類	材料・工法	性能 (耐火時間)	適用箇所 (部位・部分)																																															
耐火材吹付け	・ 乾式吹付け																																																	
	・ 半乾式吹付け																																																	
	・ 湿式吹付け																																																	
耐火板張り	・ 繊維混入型不燃板																																																	
	・ 高断熱板																																																	
耐火材巻付け																																																		
・ 張り紙外塗り																																																		
14 鉄骨の工事現場施工	<p>建方精度 [8.19.2~3] ※ (社)日本建築学会「JASS 6 鉄骨工事」付則6「鉄骨精度検査基準」付表5「工事現場」による。</p> <p>種類等 [8.20.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>材 料</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>A種 (H235)</td> <td>最小板厚 6.0mm以上の形鋼、鋼板</td> <td>※ 構造図による</td> </tr> <tr> <td>B種 (H245)</td> <td>最小板厚 3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C種 (H235)</td> <td>普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 板厚 2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板</td> <td></td> </tr> </table>	種 別	材 料	適用箇所	A種 (H235)	最小板厚 6.0mm以上の形鋼、鋼板	※ 構造図による	B種 (H245)	最小板厚 3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板		C種 (H235)	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 板厚 2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板		[8.19.2~3]	[8.20.3]	[8.25.2]	[8.25.2]	[8.25.2]	8-11 基礎 工事	<p>1. 埋戻し及び盛土 [8.28.3] 埋戻し及び盛土の種類 ・ A種 適用箇所 ( ) ・ B種 適用箇所 ( ) ・ C種 適用箇所 ( ) 土質 ( ) 受渡場所 ( ) ・ D種 (細粒分 (75µm以下) の含有率 (重量百分率) の上限を50%未満とする) 受渡場所 ( )</p> <p>2. 山留め [8.28.3] 山留の有無 ・ 有り ・ 無し 山留の存置 ・ 全て撤去 ・ 存置 存置範囲 (※ 図示による ( ))</p> <p>3. 杭工事 [8.2.14][8.28.4] 杭の種類・工法・寸法・継手・杭頭処理等 ・ 図示による 試験杭の位置・本数・寸法・施工方法等 ・ 図示による</p> <p>載荷試験 [8.28.4] 杭の載荷試験 ・ 行う (位置・本数・試験方法等は図示による) ・ 行わない 地盤の載荷試験 ・ 行う (位置・載荷荷重等は図示による) ・ 行わない</p> <p>4. 砂利地盤 [8.2.14][8.28.4] 材料 ※ 再生クラッシュラン G ・ 切込み砂利又は切込み砕石</p> <p>厚さ及び適用範囲</p> <table border="1"> <tr> <th>厚さ (mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※60</td> <td>・ 基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土間コンクリート ・ 土に接するスラブ</td> </tr> <tr> <td>○200</td> <td>○ 基礎スラブ下 ・ 基礎梁下</td> </tr> </table> <p>厚さ及び適用範囲 [8.28.4]</p> <table border="1"> <tr> <th>厚さ (mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※50</td> <td>○ 基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土に接するスラブ</td> </tr> </table> <p>5. 捨てコンクリート地盤 [8.28.4] 材料 ・ ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 施工範囲 ・ 図示による ( )</p> <p>6. 床下防湿層</p>	厚さ (mm)	適用箇所	※60	・ 基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土間コンクリート ・ 土に接するスラブ	○200	○ 基礎スラブ下 ・ 基礎梁下	厚さ (mm)	適用箇所	※50	○ 基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土に接するスラブ																				
種 別	材 料	適用箇所																																																
A種 (H235)	最小板厚 6.0mm以上の形鋼、鋼板	※ 構造図による																																																
B種 (H245)	最小板厚 3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板																																																	
C種 (H235)	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 板厚 2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板																																																	
厚さ (mm)	適用箇所																																																	
※60	・ 基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土間コンクリート ・ 土に接するスラブ																																																	
○200	○ 基礎スラブ下 ・ 基礎梁下																																																	
厚さ (mm)	適用箇所																																																	
※50	○ 基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土に接するスラブ																																																	
15 溶融亜鉛めっき工法 (主要構造部及び構造耐力上主要な部分に限る)																																																		

工事名	岩手県立二戸地区特別支援学校 (仮称) 体育館改修 (建築) 工事	製図	担当	検印	特記	年月日	2024.05	図面内容	縮尺	区分	図面番号
						設計番号	2023-001				



基礎伏図 S=1/100

工事名	岩手県立二戸地区特別支援学校 (仮称) 体育館改修 (建築) 工事	製図	担当	検印	特記	年月日	2024.05	図面内容	縮尺	区分	図面番号
						設計番号	2023-001				



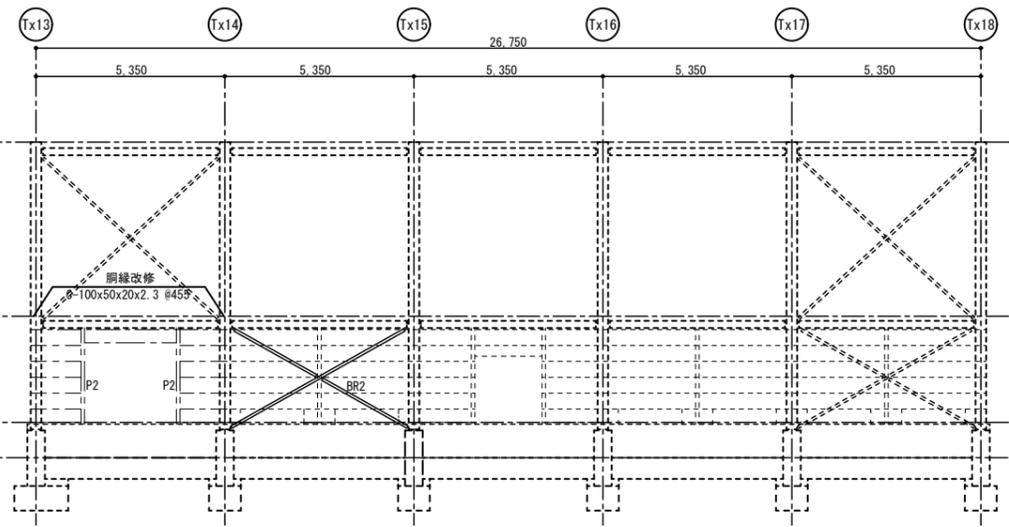
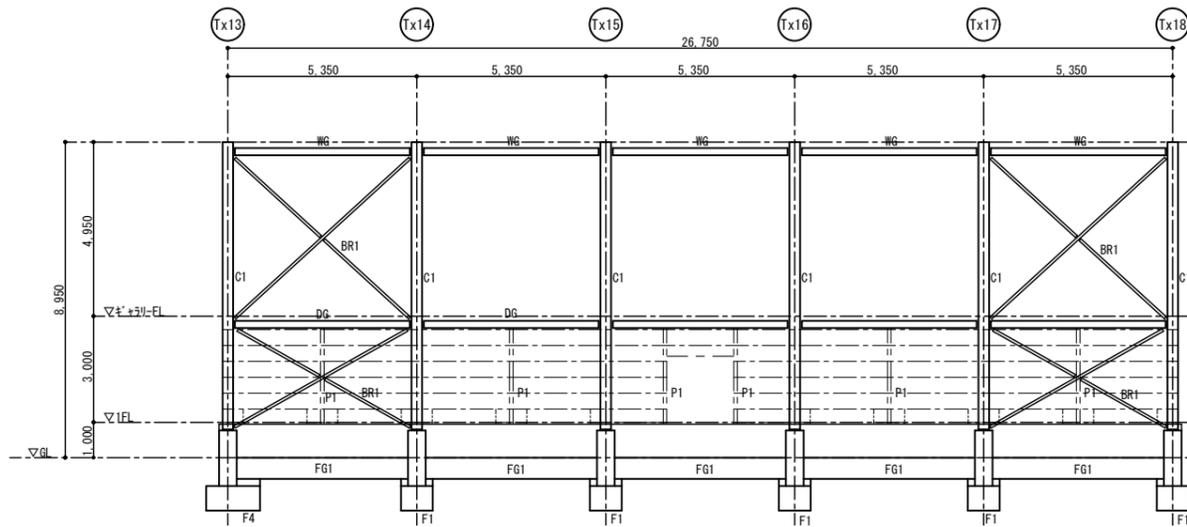
改修前 ← 改修後

ギャラリー一面伏図 S=1/100

符号	部材	符号	部材
C1	H-500×200×10×16	B1	H-100×100×6×8
C2	H-350×175×7×11	B2	H-100×100×6×8
C3	H-200×100×5.5×8	DB	H-175×90×5×8
P1	2C-100×50×20×3.2	DK	H-175×90×5×8
P2	H-248×124×5×8	H1	2C-100×50×20×2.3
G1	H-596×199×10×15	H2	2C-100×50×20×2.3
G2	H-200×100×5.5×8	WB	H-248×124×5×8
		BR1	2L-75×75×6

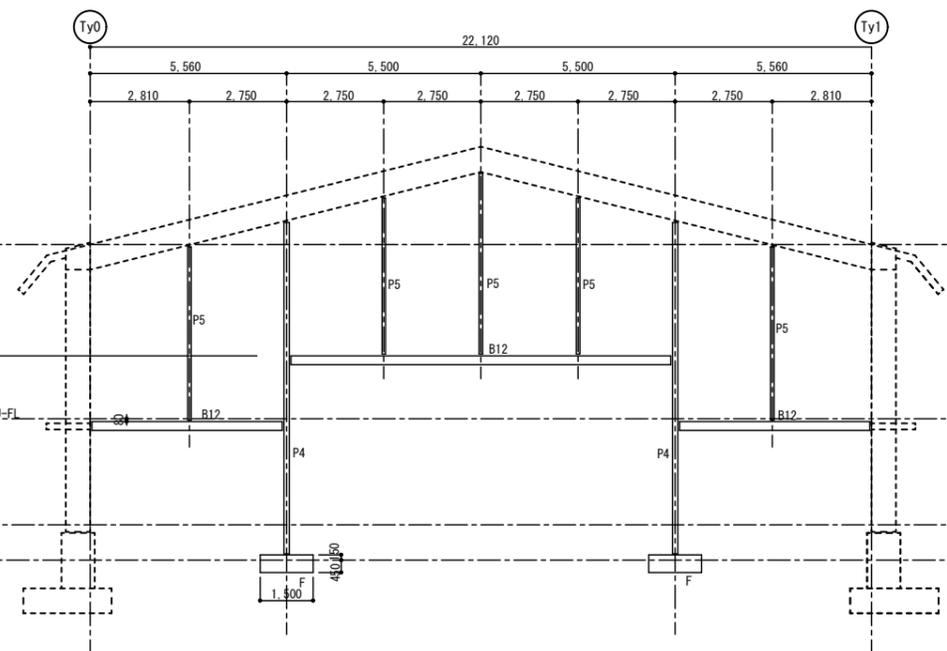
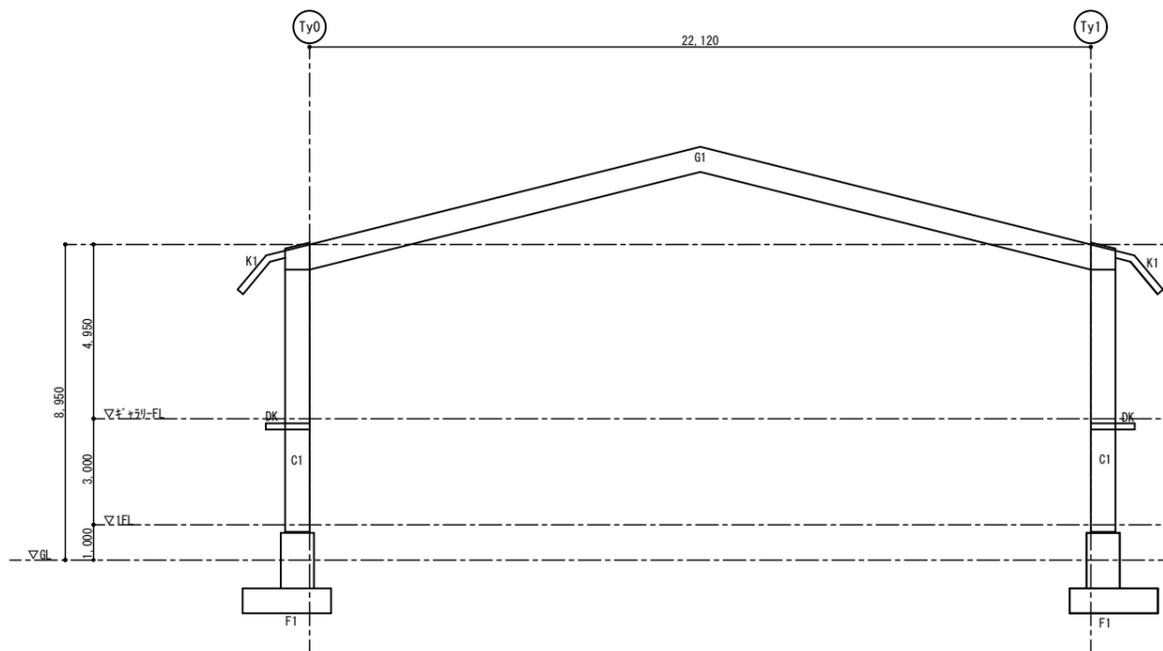
符号	部材	接合部
B12	H-250×125×6×9	G. PL-9 HTB 2-M16
B13	2C-150×50×20×3.2	G. PL-6 BT 2-M16
P4	H-150×150×7×10	G. PL-9 HTB 2-M16 BPL-16 AB 2-M16(定着L=480)
P5	H-100×100×6×8	G. PL-9 HTB 2-M16
BR2	2L-75×75×6	G. PL-9 HTB 5-M16

工事名	岩手県立二戸地区特別支援学校 (仮称) 体育館改修 (建築) 工事	製図	担当	検印	特記	年月日	2024.05	図面内容	縮尺	区分	図面番号
						設計番号	2023-001				



改修前 ← 改修後

Ty1通 軸組図 S=1/100

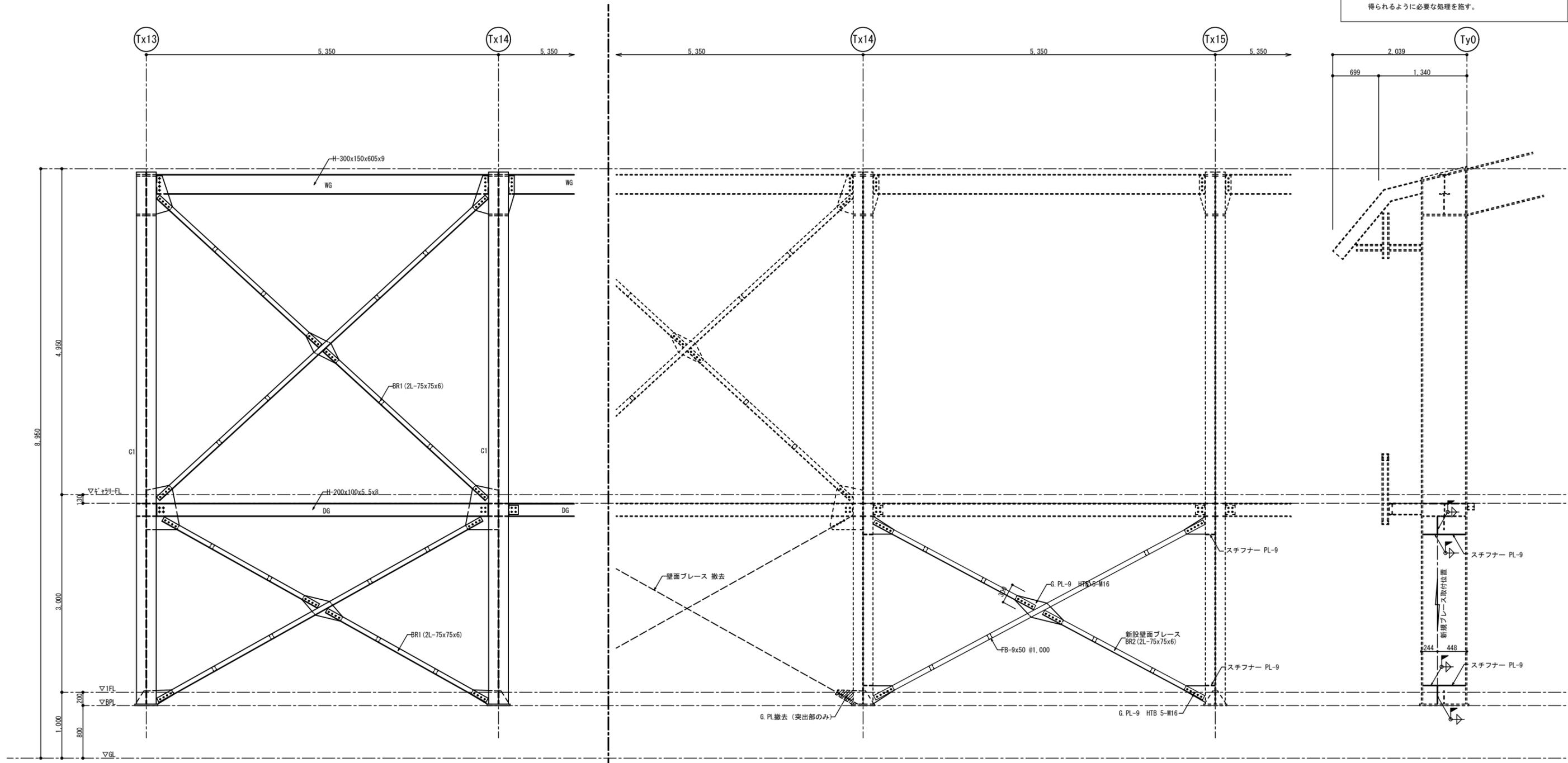


改修前 ← 改修後

Tx17通 軸組図 S=1/100

工事名	岩手県立二戸地区特別支援学校（仮称） 体育館改修（建築）工事	製図	担当	検印	特記	年月日	2024.05	図面内容	縮尺	区分	図面番号
						設計番号	2023-001				

- 共通事項 (特記なき限り下記による)
- ( ) 内は既存部材を示す。
  - 補強部材 鋼材 SS400 SSC400 STKR400  
HTB F10T又はS10T
  - 現場溶接部及び高力ボルト摩擦接合部は所定の強度が得られるように必要な処理を施す。



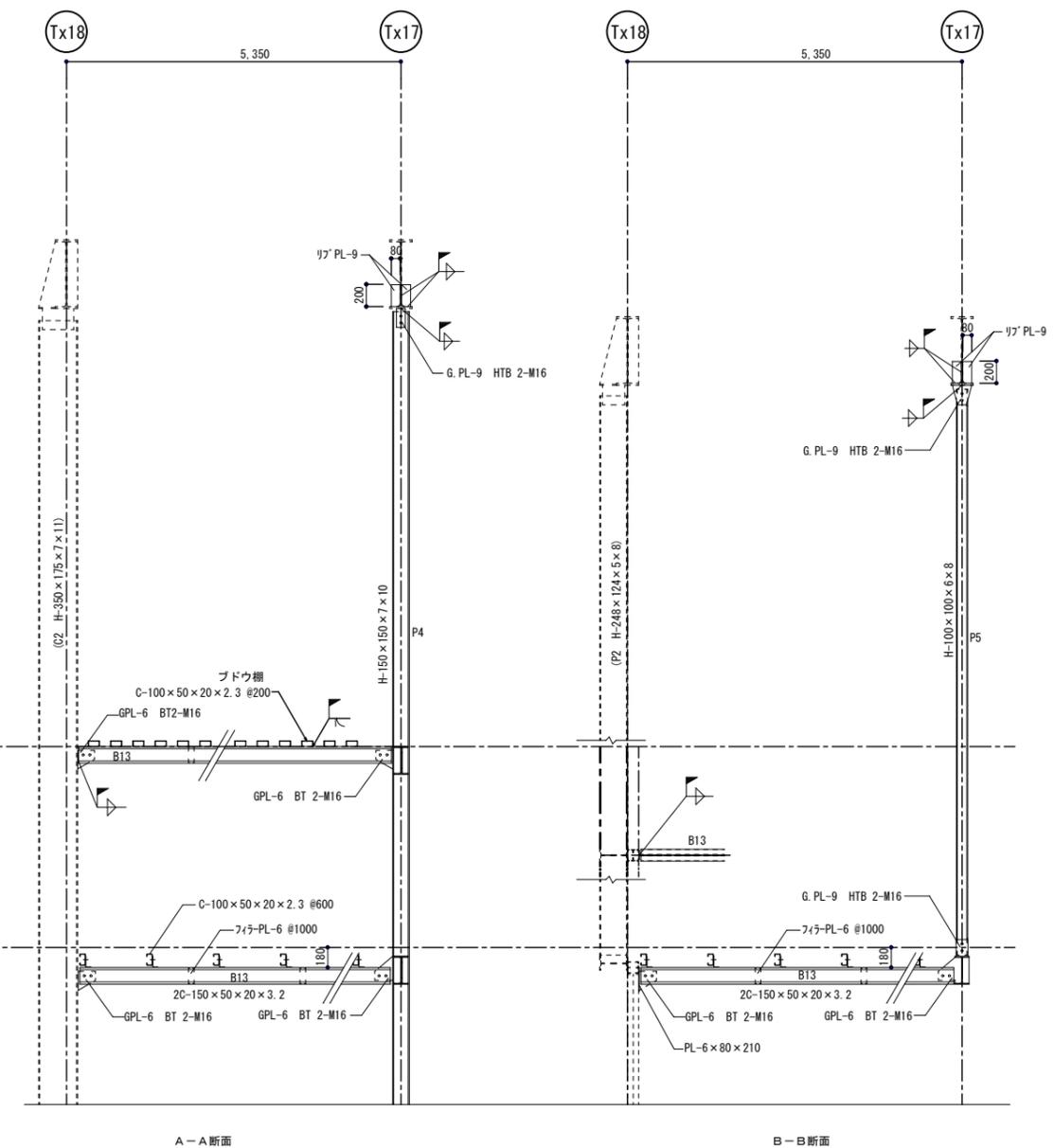
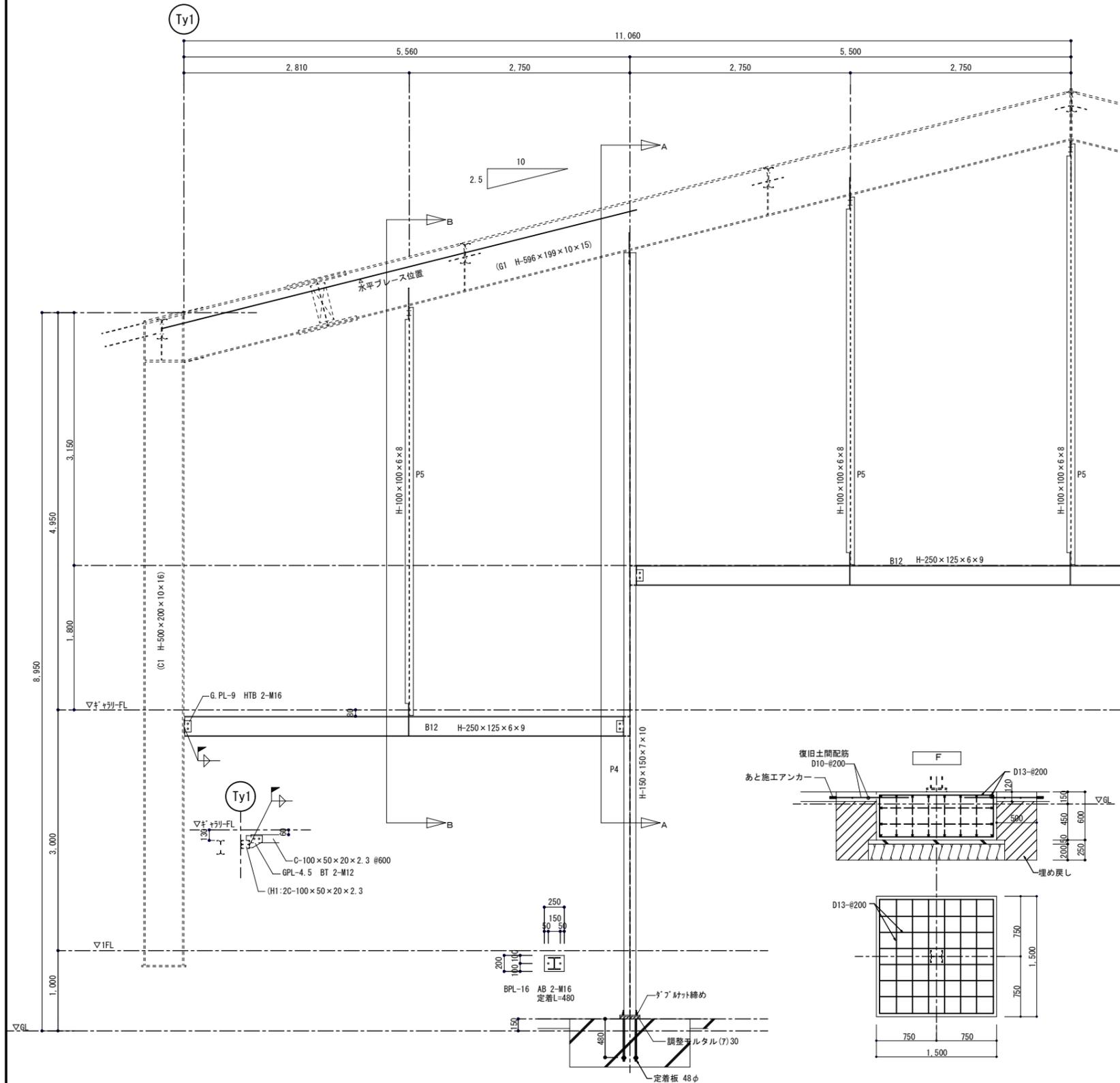
改修前 ← 改修後

Ty1通 鉄骨詳細図 S=1/30

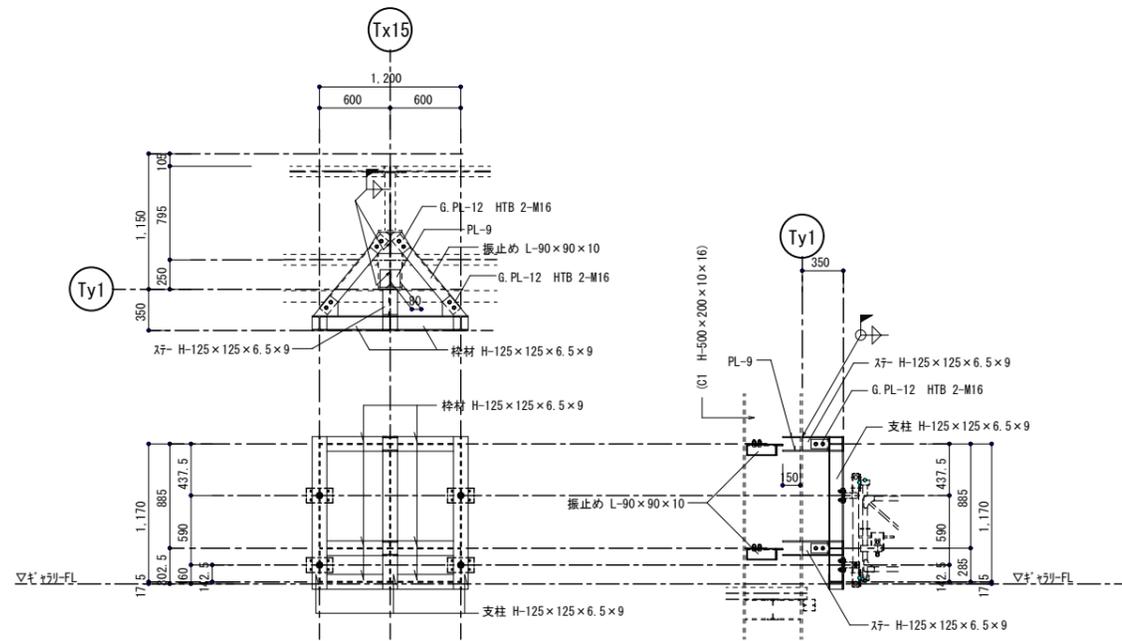
工事名	岩手県立二戸地区特別支援学校 (仮称) 体育館改修 (建築) 工事	製図	担当	検印	特記	年月日	2024.05	図面内容	縮尺	区分	図面番号
						設計番号	2023-001				

共通事項 (特記なき限り下記による)

1. ( )内は既存部材を示す。
2. 補強部材 鋼材 SS400 SS400 STKR400  
HTB F10T又はS10T
3. 現場溶接部及び高力ボルト摩擦接合部は所定の強度が得られるように必要な処理を施す。



工事名	岩手県立二戸地区特別支援学校 (仮称) 体育館改修 (建築) 工事	製図	担当	検印	特記	年月日	2024.05	図面内容	縮尺	区分	図面番号
						設計番号	2023-001				



体育器具受け鉄骨詳細図

工事名	岩手県立二戸地区特別支援学校（仮称） 体育館改修（建築）工事	製図	担当	検印	特記	年月日	2024.05	図面内容	縮尺	区分	図面番号
						設計番号	2023-001			体育器具受け 鉄骨詳細図	